

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信/海外/株式
信託期間	日本円・コース (毎月分配型) 豪ドル・コース (毎月分配型) ブラジル・リアル・コース (毎月分配型) 米ドル・コース (毎月分配型) 通貨セレクト・コース (毎月分配型) 約10年間(2011年9月22日~2021年9月7日)
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	日本円・コース (毎月分配型)
	豪ドル・コース (毎月分配型)
	ブラジル・リアル・コース (毎月分配型)
	米ドル・コース (毎月分配型)
	通貨セレクト・コース (毎月分配型)
運用方法	日本円・コース (毎月分配型)
	豪ドル・コース (毎月分配型)
	ブラジル・リアル・コース (毎月分配型)
	米ドル・コース (毎月分配型)
	通貨セレクト・コース (毎月分配型)
組入制限	投資信託証券への投資割合には、制限を設けません。
分配方針	分配対象額は、繰上控除後の配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等とし、原則として、継続的な分配を行なうことを目標とし、基準価額の水準を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。通貨セレクト・コースは、第1計算期末には、収益の分配は行ないません。

ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型)

—トリプルリターンズ—

日本円・コース (毎月分配型)  
 豪ドル・コース (毎月分配型)  
 ブラジル・リアル・コース (毎月分配型)  
 米ドル・コース (毎月分配型)  
 通貨セレクト・コース (毎月分配型)

運用報告書 (全体版)

日本円・コース (毎月分配型)	第66期 (決算日 2017年4月7日)
豪ドル・コース (毎月分配型)	第67期 (決算日 2017年5月8日)
ブラジル・リアル・コース (毎月分配型)	第68期 (決算日 2017年6月7日)
米ドル・コース (毎月分配型)	第69期 (決算日 2017年7月7日)
	第70期 (決算日 2017年8月7日)
	第71期 (決算日 2017年9月7日)
	第46期 (決算日 2017年4月7日)
	第47期 (決算日 2017年5月8日)
	第48期 (決算日 2017年6月7日)
	第49期 (決算日 2017年7月7日)
	第50期 (決算日 2017年8月7日)
	第51期 (決算日 2017年9月7日)

通貨セレクト・コース (毎月分配型)

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) —トリプルリターンズ—」は、さる9月7日に決算を行ないました。

ここに、当作成期間中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号 <3834>  
 お問い合わせ先 (コールセンター) <3835>  
 TEL 0120-106212 <3836>  
 (営業日の9:00~17:00) <3837>  
<http://www.daiwa-am.co.jp/> <5763>

日本円・コース (毎月分配型)

最近30期の運用実績

決算期	基準価額			S & P 500種株価指数 (米ドルベース)		公社債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
42期末 (2015年4月7日)	9,582	90	△ 1.2	17,832	0.5	0.0	98.7	2,399
43期末 (2015年5月7日)	9,870	90	3.9	17,828	△ 0.0	0.0	99.1	2,421
44期末 (2015年6月8日)	9,645	90	△ 1.4	17,937	0.6	0.0	98.9	2,204
45期末 (2015年7月7日)	9,175	90	△ 3.9	17,731	△ 1.2	0.0	98.9	2,060
46期末 (2015年8月7日)	8,870	90	△ 2.3	17,858	0.7	0.0	99.4	2,002
47期末 (2015年9月7日)	8,140	90	△ 7.2	16,466	△ 7.8	0.0	96.7	1,852
48期末 (2015年10月7日)	8,306	90	3.1	16,969	3.1	0.0	98.8	1,925
49期末 (2015年11月9日)	8,525	90	3.7	17,992	6.0	0.0	98.8	1,948
50期末 (2015年12月7日)	8,429	90	△ 0.1	17,927	△ 0.4	0.0	98.9	1,976
51期末 (2016年1月7日)	7,941	90	△ 4.7	17,058	△ 4.8	0.0	98.7	1,937
52期末 (2016年2月8日)	7,472	90	△ 4.8	16,113	△ 5.5	0.0	99.2	1,745
53期末 (2016年3月7日)	7,844	90	6.2	17,141	6.4	0.0	99.0	1,849
54期末 (2016年4月7日)	7,982	90	2.9	17,713	3.3	—	98.9	1,834
55期末 (2016年5月9日)	7,729	90	△ 2.0	17,631	△ 0.5	0.0	98.3	1,750
56期末 (2016年6月7日)	7,925	90	3.7	18,079	2.5	0.0	98.4	1,721
57期末 (2016年7月7日)	7,672	90	△ 2.1	17,996	△ 0.5	0.0	99.4	1,609
58期末 (2016年8月8日)	8,004	90	5.5	18,709	4.0	0.0	98.9	1,609
59期末 (2016年9月7日)	7,900	90	△ 0.2	18,740	0.2	0.0	99.2	1,502
60期末 (2016年10月7日)	7,740	90	△ 0.9	18,519	△ 1.2	0.0	99.4	1,404
61期末 (2016年11月7日)	7,345	90	△ 3.9	17,872	△ 3.5	0.0	95.5	1,278
62期末 (2016年12月7日)	7,688	90	5.9	18,960	6.1	0.0	97.8	1,232
63期末 (2017年1月10日)	7,776	90	2.3	19,446	2.6	0.0	98.5	1,200
64期末 (2017年2月7日)	7,724	90	0.5	19,649	1.0	0.0	98.9	1,199
65期末 (2017年3月7日)	7,892	90	3.3	20,358	3.6	0.0	95.7	1,187
66期末 (2017年4月7日)	7,680	90	△ 1.5	20,205	△ 0.8	0.0	98.3	1,068
67期末 (2017年5月8日)	7,649	90	0.8	20,564	1.8	0.0	98.2	1,025
68期末 (2017年6月7日)	7,565	90	0.1	20,821	1.3	0.0	96.2	988
69期末 (2017年7月7日)	7,543	90	0.9	20,653	△ 0.8	0.0	98.4	955
70期末 (2017年8月7日)	7,545	90	1.2	21,228	2.8	0.0	98.9	935
71期末 (2017年9月7日)	7,481	90	0.3	21,132	△ 0.5	—	98.3	898

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) S & P 500種株価指数 (米ドルベース) は、S & P 500種株価指数 (米ドルベース) の原データをもとに、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。S & P 500種株価指数 (米ドルベース) の所有権およびその他一切の権利は、S & P Dow Jones Indices LLC が有しています。S & P Dow Jones Indices LLC は、同指数の算出にかかる誤謬等に関し、いかなる者に対しても責任を負うものではありません。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

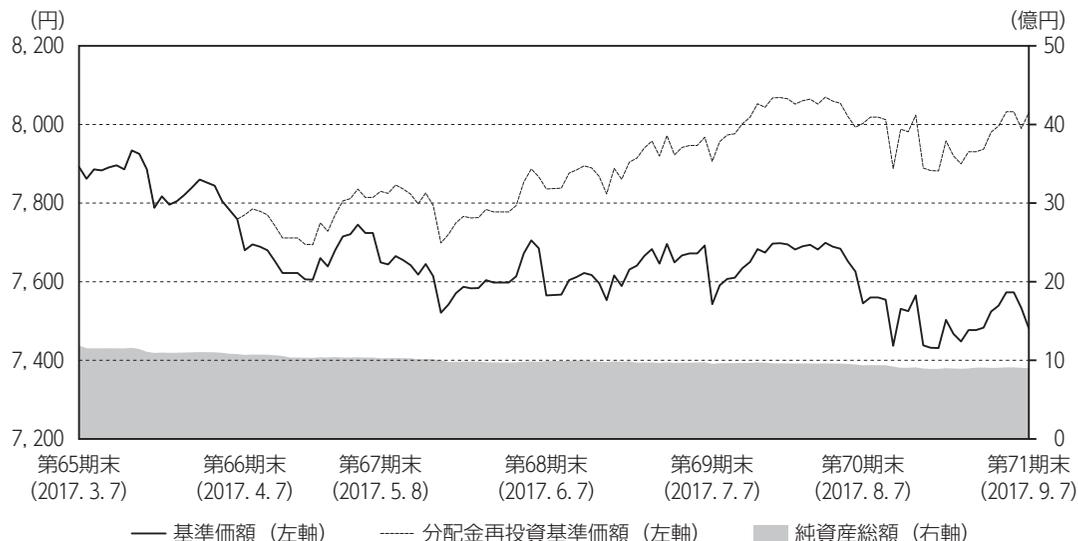
(注4) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注5) 公社債組入比率は新株予約権付社債券 (転換社債券) および債券先物を除きます。



## 運用経過

### 基準価額等の推移について



\* 分配金再投資基準価額は、分配金 (税込み) を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものであり、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

\* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまが利用するコースにより異なります。また、分配金の課税条件は、ファンドの購入価額により異なります。

### 基準価額・騰落率

第66期首：7,892円

第71期末：7,481円 (既払分配金540円)

騰落率：1.8% (分配金再投資ベース)

### 基準価額の変動要因

オージェンタム・トラスト・クロッキーUSストラテジー・ファンド (日本円・クラス) (以下、「クロッキーUSストラテジー・ファンド (日本円・クラス)」といいます。) とダイワ・マネー・マザーファンドに投資した結果、クロッキーUSストラテジー・ファンド (日本円・クラス) の上昇が寄与し、基準価額は上昇しました。クロッキーUSストラテジー・ファンド (日本円・クラス) については、米国の株式とオプション取引を組み合わせさせたカバードコール戦略を構築した結果、株価が上昇したことが寄与し、上昇しました。一方、オプション取引は、マイナス要因となりました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) - トリプルリターンズ - 日本円・コース (毎月分配型)

	年 月 日	基 準 価 額		S & P 500種株価指数 (米ドルベース)		公 社 債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率
		騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率			
第66期	(期首) 2017年 3月 7日	円 7,892	% —	20,358	% —	% 0.0	% 95.7
	3月末	7,852	△ 0.5	20,296	△ 0.3	—	98.5
	(期末) 2017年 4月 7日	7,770	△ 1.5	20,205	△ 0.8	0.0	98.3
第67期	(期首) 2017年 4月 7日	7,680	—	20,205	—	0.0	98.3
	4月末	7,745	0.8	20,474	1.3	0.0	97.0
	(期末) 2017年 5月 8日	7,739	0.8	20,564	1.8	0.0	98.2
第68期	(期首) 2017年 5月 8日	7,649	—	20,564	—	0.0	98.2
	5月末	7,598	△ 0.7	20,680	0.6	0.0	98.5
	(期末) 2017年 6月 7日	7,655	0.1	20,821	1.3	0.0	96.2
第69期	(期首) 2017年 6月 7日	7,565	—	20,821	—	0.0	96.2
	6月末	7,649	1.1	20,739	△ 0.4	0.0	99.0
	(期末) 2017年 7月 7日	7,633	0.9	20,653	△ 0.8	0.0	98.4
第70期	(期首) 2017年 7月 7日	7,543	—	20,653	—	0.0	98.4
	7月末	7,699	2.1	21,188	2.6	0.0	98.6
	(期末) 2017年 8月 7日	7,635	1.2	21,228	2.8	0.0	98.9
第71期	(期首) 2017年 8月 7日	7,545	—	21,228	—	0.0	98.9
	8月末	7,524	△ 0.3	21,063	△ 0.8	—	98.8
	(期末) 2017年 9月 7日	7,571	0.3	21,132	△ 0.5	—	98.3

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

## 投資環境について

(2017. 3. 8 ~ 2017. 9. 7)

### ■米国株式市況

S & P 500種株価指数は上昇しました。米国株式市況は、第66期首より下落してスタートしましたが、2017年4月下旬には、フランス大統領選挙の第一回投票結果を受けて安心感が広がったことや、米国トランプ政権による税制改革への期待から上昇しました。5月中旬に、トランプ政権の先行き不透明感が広がり一時大きく下落しましたが、好調な決算のほか雇用統計が予想を上回る伸びだったことを好感して堅調に推移しました。8月中旬以降は、北朝鮮をめぐる地政学リスクの高まりなどから上値が重い展開となりました。

### ■短期金利市況

日本では、日銀が2016年9月の金融政策決定会合で導入した「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」を維持するなど、短期金利は低位で推移しました。

一方、米国の短期金利は、F R B（米国連邦準備制度理事会）がF O M C（米国連邦公開市場委員会）で政策金利の誘導目標レンジを0.50~0.75%から1.00~1.25%に引き上げました。

## 前作成期間末における「今後の運用方針」

### ■当ファンド

クロッキーUSストラテジー・ファンド（日本円・クラス）とダイワ・マネー・マザーファンドに投資します。また、クロッキーUSストラテジー・ファンド（日本円・クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

### ■クロッキーUSストラテジー・ファンド（日本円・クラス）

投資対象銘柄をS & P 500種株価指数構成銘柄の時価総額上位半数程度の銘柄から世界産業分類基準（G I C S）の金融セクターに属する銘柄を除いた銘柄とし、ドイツ銀行グループが独自に開発した株式分析手法「クロッキーモデル」を用い、会計データを重点分析し、割安と判断される40銘柄を選定します。選定時における各銘柄の構成比率はおおむね均等とします。個別銘柄ごとに、当該株式を原資産とするコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築します。為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行いません。

### ■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、安定的な運用を行いません。

## ポートフォリオについて

(2017. 3. 8 ~ 2017. 9. 7)

### ■当ファンド

当ファンドは、クロッキーUSストラテジー・ファンド (日本円・クラス) とダイワ・マネー・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズであり、当作成期間を通じてクロッキーUSストラテジー・ファンド (日本円・クラス) とダイワ・マネー・マザーファンドに投資しました。また、クロッキーUSストラテジー・ファンド (日本円・クラス) への投資割合を高位に維持しました。

### ■クロッキーUSストラテジー・ファンド (日本円・クラス)

S & P 500種株価指数構成銘柄の時価総額上位半数程度の銘柄からG I C Sの金融セクターに属する銘柄を除いた銘柄を投資対象銘柄とし、「クロッキーモデル」を用いて会計データを重点分析し、割安と判断される40銘柄を選定しました。選定時における各銘柄の構成比率はおおむね均等としました。個別銘柄ごとに、当該株式を原資産とするコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築しました。為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行ないました。

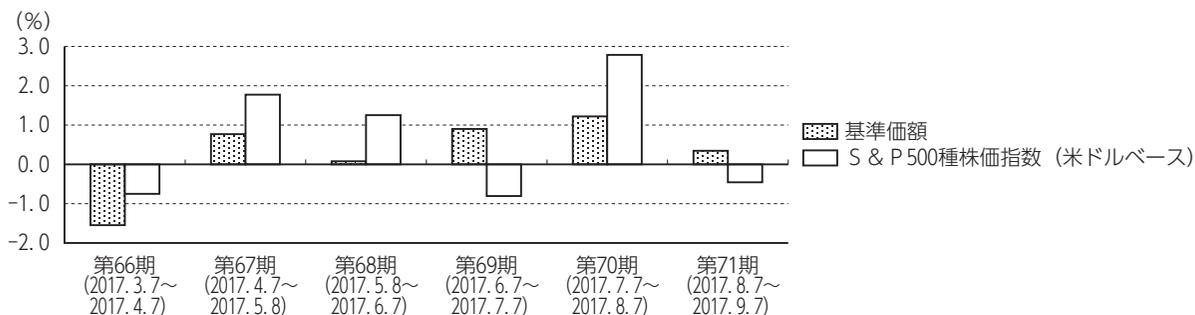
### ■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債、現先取引およびコール・ローン等による運用を行ないました。

## ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。当ファンドはカバードコール戦略を構築していますので、オプション取引要因は参考指数との差異の要因に含まれます。



## 分配金について

第66期から第71期の1万口当り分配金（税込み）はそれぞれ90円といたしました。  
 収益分配金の決定根拠は下記の「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。  
 なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

### ■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第66期	第67期	第68期	第69期	第70期	第71期
	2017年3月8日 ～2017年4月7日	2017年4月8日 ～2017年5月8日	2017年5月9日 ～2017年6月7日	2017年6月8日 ～2017年7月7日	2017年7月8日 ～2017年8月7日	2017年8月8日 ～2017年9月7日
当期分配金（税込み）（円）	90	90	90	90	90	90
対基準価額比率（％）	1.16	1.16	1.18	1.18	1.18	1.19
当期の収益（円）	52	48	46	50	48	46
当期の収益以外（円）	37	41	43	39	41	43
翌期繰越分配対象額（円）	812	771	728	688	647	604

（注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

（注2）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

（注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

### ■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第66期	第67期	第68期	第69期	第70期	第71期
(a) 経費控除後の配当等収益	52.69円	48.95円	46.30円	50.10円	48.22円	46.68円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	849.51	812.21	772.35	728.72	688.85	647.66
(d) 分配準備積立金	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	902.21	861.16	818.66	778.83	737.07	694.34
(f) 分配金	90.00	90.00	90.00	90.00	90.00	90.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	812.21	771.16	728.66	688.83	647.07	604.34

（注）下線を付した該当項目から分配金を計上しています。



## 今後の運用方針

### ■当ファンド

引き続き、クロッキーUSストラテジー・ファンド（日本円・クラス）とダイワ・マネー・マザーファンドに投資します。また、クロッキーUSストラテジー・ファンド（日本円・クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

### ■クロッキーUSストラテジー・ファンド（日本円・クラス）

S & P 500種株価指数構成銘柄の時価総額上位半数程度の銘柄からG I C Sの金融セクターに属する銘柄を除いた銘柄を投資対象銘柄とし、「クロッキーモデル」を用いて会計データを重点分析し、割安と判断される40銘柄を選定します。選定時における各銘柄の構成比率はおおむね均等とします。個別銘柄ごとに、当該株式を原資産とするコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築します。為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行いません。

### ■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等による運用を行なう方針です。

## 1万口当りの費用の明細

項 目	第66期～第71期 (2017.3.8～2017.9.7)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	51円	0.666%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は7,653円です。
(投 信 会 社)	(17)	(0.217)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価
(販 売 会 社)	(33)	(0.435)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 銀 行)	(1)	(0.013)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権総口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0.004	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	51	0.670	

(注1) 期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券(マザーファンドを除く。)が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

(注3) 金額欄は各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注4) 比率欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■売買および取引の状況

投資信託受益証券

(2017年3月8日から2017年9月7日まで)

決算期	第 66 期 ~ 第 71 期			
	買 付		売 付	
	口 数	金 額	口 数	金 額
外国 (邦貨建)	千口 722,734	千円 64,134	千口 3,269,936	千円 292,000

(注1) 買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。

(注2) 金額は受渡し代金。

(注3) 金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

投資信託受益証券

(2017年3月8日から2017年9月7日まで)

買 付 銘 柄	第 66 期 ~			第 71 期			
	買 付			売 付			
	口 数	金 額	平均単価	銘 柄	口 数	金 額	平均単価
CROCI US STRATEGY FUND JPY CLASS (ケイマン諸島)	千口 225,258	千円 20,000	円 88	CROCI US STRATEGY FUND JPY CLASS (ケイマン諸島)	千口 3,269,936	千円 292,000	円 89

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況

(1) 当ファンドにおける当作成期間中の利害関係人との取引状況

当作成期間 (第66期~第71期) 中における利害関係人との取引はありません。

(3) 当作成期間中の売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

当作成期間 (第66期~第71期) 中における売買委託手数料の利害関係人への支払いはありません。

(2) ダイワ・マネー・マザーファンドにおける当作成期間中の利害関係人との取引状況

(2017年3月8日から2017年9月7日まで)

区 分	第 66 期 ~ 第 71 期					
	買付額等 A	うち利害 関係人との 取引状況 B	B/A	売付額等 C	うち利害 関係人との 取引状況 D	D/C
公社債	百万円 116,622	百万円 16,060	% 13.8	百万円 —	百万円 —	% —
コール・ローン	7,623,002	—	—	—	—	—
現先取引 (その他有価証券)	125,999	—	—	125,999	—	—

(注) 平均保有割合0.0%

\*平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該ペーパーファンドのマザーファンド所有口数の割合。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当作成期間における当ファンドに係る利害関係人とは、大和証券です。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組み入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	第 71 期 末		
	口 数	評価額	比 率
	千口	千円	%
外国投資信託受益証券 (ケイマン諸島) CROCI US STRATEGY FUND JPY CLASS	9,902.759	883,662	98.3

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2017年9月7日現在

項 目	第 71 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託受益証券	883,662	97.1
ダイワ・マネー・マザーファンド	135	0.0
コール・ローン等、その他	26,662	2.9
投資信託財産総額	910,460	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	第65期末	第 71 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ダイワ・マネー・マザーファンド	132	132	135

(注) 単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2017年4月7日)、(2017年5月8日)、(2017年6月7日)、(2017年7月7日)、(2017年8月7日)、(2017年9月7日)現在

項 目	第66期末	第67期末	第68期末	第69期末	第70期末	第71期末
<b>(A) 資産</b>	<b>1,091,779,741円</b>	<b>1,038,556,636円</b>	<b>1,004,796,179円</b>	<b>967,654,238円</b>	<b>953,347,933円</b>	<b>910,460,314円</b>
コール・ローン等	41,715,377	31,820,775	52,990,381	28,059,825	28,116,938	26,662,155
投資信託受益証券 (評価額)	1,049,929,059	1,006,600,556	951,670,506	939,459,121	925,095,716	883,662,880
ダイワ・マネー・マザーファンド (評価額)	135,305	135,305	135,292	135,292	135,279	135,279
<b>(B) 負債</b>	<b>23,250,798</b>	<b>13,254,229</b>	<b>15,894,223</b>	<b>12,512,783</b>	<b>17,542,017</b>	<b>11,873,035</b>
未払収益分配金	12,521,918	12,064,394	11,764,268	11,395,635	11,162,960	10,810,232
未払解約金	9,460,010	—	3,027,911	23,930	5,265,321	—
未払信託報酬	1,261,139	1,174,898	1,080,559	1,065,232	1,079,160	1,021,990
その他未払費用	7,731	14,937	21,485	27,986	34,576	40,813
<b>(C) 純資産総額 (A - B)</b>	<b>1,068,528,943</b>	<b>1,025,302,407</b>	<b>988,901,956</b>	<b>955,141,455</b>	<b>935,805,916</b>	<b>898,587,279</b>
元本	1,391,324,227	1,340,488,242	1,307,140,897	1,266,181,739	1,240,328,961	1,201,136,980
次期繰越損益金	△ 322,795,284	△ 315,185,835	△ 318,238,941	△ 311,040,284	△ 304,523,045	△ 302,549,701
<b>(D) 受益権総口数</b>	<b>1,391,324,227口</b>	<b>1,340,488,242口</b>	<b>1,307,140,897口</b>	<b>1,266,181,739口</b>	<b>1,240,328,961口</b>	<b>1,201,136,980口</b>
1万口当り基準価額 (C/D)	7,680円	7,649円	7,565円	7,543円	7,545円	7,481円

\*第65期末における元本額は1,504,767,950円、当作成期間(第66期~第71期)中における追加設定元本額は73,640,669円、同解約元本額は377,271,639円です。

\*第71期末の計算口数当りの純資産額は7,481円です。

\*第71期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は302,549,701円です。

ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) - トリプルリターンズ - 日本円・コース (毎月分配型)

■損益の状況

項目	第66期 自 2017年 3月 8日 至 2017年 4月 7日 第67期 自 2017年 4月 8日 至 2017年 5月 8日	第67期 自 2017年 5月 9日 至 2017年 6月 7日 第69期 自 2017年 6月 8日 至 2017年 7月 7日	第68期 自 2017年 5月 9日 至 2017年 6月 7日 第70期 自 2017年 7月 8日 至 2017年 8月 7日	第69期 自 2017年 6月 8日 至 2017年 7月 7日 第71期 自 2017年 8月 8日 至 2017年 9月 7日	第70期 自 2017年 7月 8日 至 2017年 8月 7日	第71期 自 2017年 8月 8日 至 2017年 9月 7日
(A) 配当等収益	8,600,928円	7,546,159円	7,139,914円	7,134,611円	6,554,821円	6,635,613円
受取配当金	8,601,953	7,547,358	7,140,770	7,135,472	6,555,696	6,636,355
受取利息	14	8	10	4	5	5
支払利息	△ 1,039	△ 1,207	△ 866	△ 865	△ 880	△ 747
(B) 有価証券売買損益	△ 24,250,901	△ 1,516,537	△ 5,298,373	△ 2,541,176	△ 5,850,494	△ 2,349,117
売買益	204,307	1,509,042	604,430	2,499,936	6,038,752	562,076
売買損	△ 24,455,208	△ 7,495	△ 5,902,803	△ 41,240	△ 188,258	△ 2,911,193
(C) 信託報酬等	△ 1,268,870	△ 1,182,104	△ 1,087,157	△ 1,071,739	△ 1,085,750	△ 1,028,227
(D) 当期繰越損益金 (A + B + C)	△ 16,918,843	△ 7,880,592	△ 754,384	△ 8,604,048	△ 11,319,565	△ 3,258,269
(E) 前期繰越損益金	△ 129,577,829	△ 147,816,791	△ 138,921,035	△ 138,910,575	△ 133,509,580	△ 122,199,981
(F) 追加信託差損益金	△ 163,776,694	△ 163,185,242	△ 168,308,022	△ 169,338,122	△ 171,170,070	△ 172,797,757
(配当等相当額)	( 118,195,719)	( 108,876,963)	( 100,957,790)	( 92,269,965)	( 85,440,214)	( 77,793,279)
(売買損益相当額)	(△ 281,972,413)	(△ 272,062,205)	(△ 269,265,812)	(△ 261,608,087)	(△ 256,610,284)	(△ 250,591,036)
(G) 合計 (D + E + F)	△ 310,273,366	△ 303,121,441	△ 306,474,673	△ 299,644,649	△ 293,360,085	△ 291,739,469
(H) 収益分配金	△ 12,521,918	△ 12,064,394	△ 11,764,268	△ 11,395,635	△ 11,162,960	△ 10,810,232
次期繰越損益金 (G + H)	△ 322,795,284	△ 315,185,835	△ 318,238,941	△ 311,040,284	△ 304,523,045	△ 302,549,701
追加信託差損益金	△ 168,966,556	△ 168,687,819	△ 174,019,536	△ 174,389,448	△ 176,351,923	△ 178,000,606
(配当等相当額)	( 113,005,857)	( 103,374,386)	( 95,246,276)	( 87,218,639)	( 80,258,361)	( 72,590,430)
(売買損益相当額)	(△ 281,972,413)	(△ 272,062,205)	(△ 269,265,812)	(△ 261,608,087)	(△ 256,610,284)	(△ 250,591,036)
繰越損益金	△ 153,828,728	△ 146,498,016	△ 144,219,405	△ 136,650,836	△ 128,171,122	△ 124,549,095

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は「収益分配金の計算過程 (総額)」の表をご参照ください。

■収益分配金の計算過程 (総額)

項目	第66期	第67期	第68期	第69期	第70期	第71期
(a) 経費控除後の配当等収益	7,332,056円	6,561,817円	6,052,754円	6,344,309円	5,981,107円	5,607,383円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	118,195,719	108,876,963	100,957,790	92,269,965	85,440,214	77,793,279
(d) 分配準備積立金	0	0	0	0	0	0
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	125,527,775	115,438,780	107,010,544	98,614,274	91,421,321	83,400,662
(f) 分配金	12,521,918	12,064,394	11,764,268	11,395,635	11,162,960	10,810,232
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	113,005,857	103,374,386	95,246,276	87,218,639	80,258,361	72,590,430
(h) 受益権総口数	1,391,324,227口	1,340,488,242口	1,307,140,897口	1,266,181,739口	1,240,328,961口	1,201,136,980口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ						
1 万口当り分配金	第66期	第67期	第68期	第69期	第70期	第71期
	90円	90円	90円	90円	90円	90円
（単 価）	（7,680円）	（7,649円）	（7,565円）	（7,543円）	（7,545円）	（7,481円）

- 〈分配金再投資コース〉をご利用の方の税引き分配金は、上記（ ）内の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

#### 分配金の課税上の取扱いについて

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・普通分配金については、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）の税率による源泉徴収が行なわれ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税（配当控除の適用はありません。）を選択することもできます。
- ・法人の受益者の場合、税率が異なります。
- ・税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。
- ・課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

豪ドル・コース (毎月分配型)

最近30期の運用実績

決算期	基準価額			S & P 500種株価指数 (米ドルベース)		豪ドル為替レート		公社債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率			
	円	円	%		%	円	%	%	%	百万円
42期末(2015年4月7日)	9,579	200	△ 4.1	17,832	0.5	90.58	△ 2.7	0.0	98.0	14,353
43期末(2015年5月7日)	10,136	200	7.9	17,828	△ 0.0	94.95	4.8	0.0	98.4	15,611
44期末(2015年6月8日)	10,018	200	0.8	17,937	0.6	95.62	0.7	0.0	98.5	15,384
45期末(2015年7月7日)	9,087	200	△ 7.3	17,731	△ 1.2	91.88	△ 3.9	0.0	99.0	13,474
46期末(2015年8月7日)	8,612	200	△ 3.0	17,858	0.7	91.62	△ 0.3	0.0	98.9	12,753
47期末(2015年9月7日)	7,000	200	△ 16.4	16,466	△ 7.8	82.55	△ 9.9	0.0	98.8	9,910
48期末(2015年10月7日)	7,339	150	7.0	16,969	3.1	86.02	4.2	0.0	99.1	10,502
49期末(2015年11月9日)	7,550	150	4.9	17,992	6.0	86.79	0.9	0.0	98.8	10,554
50期末(2015年12月7日)	7,732	150	4.4	17,927	△ 0.4	90.27	4.0	0.0	99.0	10,557
51期末(2016年1月7日)	6,691	150	△ 11.5	17,058	△ 4.8	83.94	△ 7.0	0.0	98.3	9,190
52期末(2016年2月8日)	6,138	150	△ 6.0	16,113	△ 5.5	83.04	△ 1.1	0.0	99.0	8,304
53期末(2016年3月7日)	6,497	150	8.3	17,141	6.4	84.26	1.5	0.0	99.2	8,632
54期末(2016年4月7日)	6,443	150	1.5	17,713	3.3	83.52	△ 0.9	—	99.0	8,388
55期末(2016年5月9日)	5,811	150	△ 7.5	17,631	△ 0.5	79.14	△ 5.2	0.0	98.9	7,504
56期末(2016年6月7日)	5,985	100	4.7	18,079	2.5	79.16	0.0	0.0	98.6	7,468
57期末(2016年7月7日)	5,500	100	△ 6.4	17,996	△ 0.5	75.95	△ 4.1	0.0	98.8	6,515
58期末(2016年8月8日)	5,845	100	8.1	18,709	4.0	77.64	2.2	0.0	99.3	6,559
59期末(2016年9月7日)	5,817	100	1.2	18,740	0.2	77.78	0.2	0.0	99.1	6,046
60期末(2016年10月7日)	5,694	100	△ 0.4	18,519	△ 1.2	78.50	0.9	0.0	99.1	5,815
61期末(2016年11月7日)	5,404	100	△ 3.3	17,872	△ 3.5	79.78	1.6	0.0	98.7	5,210
62期末(2016年12月7日)	6,057	100	13.9	18,960	6.1	84.74	6.2	0.0	98.4	5,688
63期末(2017年1月10日)	6,126	100	2.8	19,446	2.6	85.16	0.5	0.0	98.6	5,615
64期末(2017年2月7日)	6,109	100	1.4	19,649	1.0	85.35	0.2	0.0	98.2	5,531
65期末(2017年3月7日)	6,261	100	4.1	20,358	3.6	86.48	1.3	0.0	99.0	5,569
66期末(2017年4月7日)	5,889	100	△ 4.3	20,205	△ 0.8	83.63	△ 3.3	0.0	98.7	5,104
67期末(2017年5月8日)	5,874	100	1.4	20,564	1.8	83.47	△ 0.2	0.0	98.8	5,013
68期末(2017年6月7日)	5,640	100	△ 2.3	20,821	1.3	82.17	△ 1.6	0.0	98.3	4,736
69期末(2017年7月7日)	5,843	100	5.4	20,653	△ 0.8	85.84	4.5	0.0	98.6	4,821
70期末(2017年8月7日)	5,952	100	3.6	21,228	2.8	87.86	2.4	0.0	98.5	4,728
71期末(2017年9月7日)	5,819	100	△ 0.6	21,132	△ 0.5	87.50	△ 0.4	—	98.8	4,457

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) S & P 500種株価指数 (米ドルベース) は、S & P 500種株価指数 (米ドルベース) の原データをもとに、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。S & P 500種株価指数 (米ドルベース) の所有権およびその他一切の権利は、S & P Dow Jones Indices LLC が有しています。S & P Dow Jones Indices LLC は、同指数の算出にかかる誤謬等に関し、いかなる者に対しても責任を負うものではありません。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 為替レートは、計算日における対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートを採用しています。

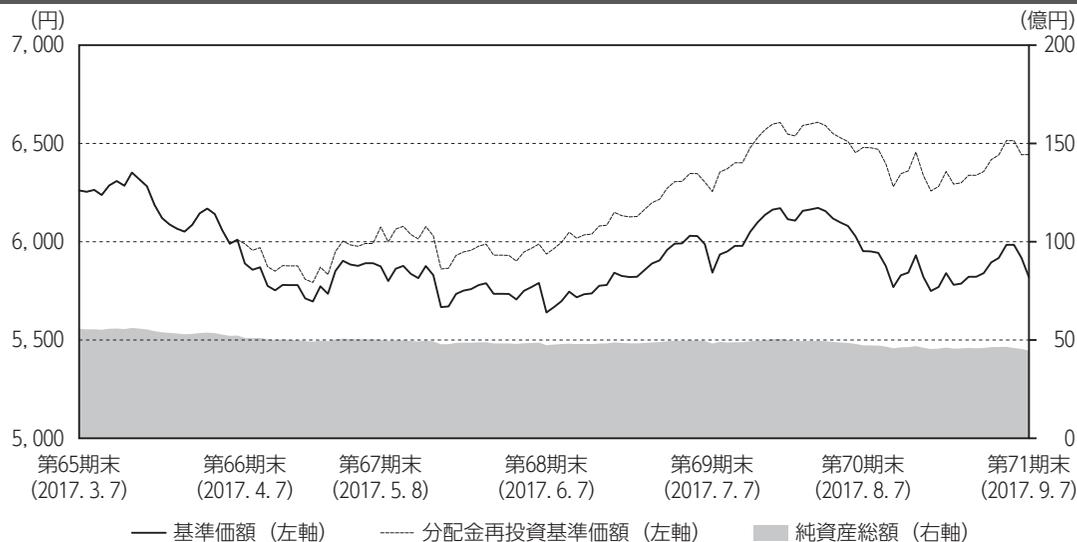
(注5) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注6) 公社債組入比率は新株予約権付社債券 (転換社債券) および債券先物を除きます。



## 運用経過

### 基準価額等の推移について



\* 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものであり、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

\* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまが利用するコースにより異なります。また、分配金の課税条件は、ファンドの購入価額により異なります。

#### 基準価額・騰落率

第66期首：6,261円

第71期末：5,819円 (既払分配金600円)

騰落率：2.9% (分配金再投資ベース)

#### 基準価額の主な変動要因

オージェンタム・トラスト・クロッキーUSストラテジー・ファンド(豪ドル・クラス)(以下、「クロッキーUSストラテジー・ファンド(豪ドル・クラス)」といいます。)とダイワ・マネー・マザーファンドに投資した結果、クロッキーUSストラテジー・ファンド(豪ドル・クラス)の上昇が寄与し、基準価額は上昇しました。クロッキーUSストラテジー・ファンド(豪ドル・クラス)については、米国の株式とオプション取引を組み合わせたカバードコール戦略を構築するとともに、米ドル売り/豪ドル買いの為替取引を活用した結果、株価が上昇したことや豪ドルが対円で上昇したこと、為替取引によるプレミアム(金利差相当分の収益)が寄与し、上昇しました。一方、オプション取引は、マイナス要因となりました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) - トリプルリターンズ- 豪ドル・コース (毎月分配型)

	年 月 日	基 準 価 額		S & P 500種株価指数 (米ドルベース)		豪ドル為替レート		公 社 債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率
		円	%	(参考指数)	騰落率	(参考指数)	騰落率		
第66期	(期首) 2017年 3月 7日	6,261	—	20,358	—	86.48	—	0.0	99.0
	3月末	6,169	△ 1.5	20,296	△ 0.3	85.84	△ 0.7	—	99.6
	(期末) 2017年 4月 7日	5,989	△ 4.3	20,205	△ 0.8	83.63	△ 3.3	0.0	98.7
第67期	(期首) 2017年 4月 7日	5,889	—	20,205	—	83.63	—	0.0	98.7
	4月末	5,877	△ 0.2	20,474	1.3	83.24	△ 0.5	0.0	96.7
	(期末) 2017年 5月 8日	5,974	1.4	20,564	1.8	83.47	△ 0.2	0.0	98.8
第68期	(期首) 2017年 5月 8日	5,874	—	20,564	—	83.47	—	0.0	98.8
	5月末	5,734	△ 2.4	20,680	0.6	82.90	△ 0.7	0.0	98.9
	(期末) 2017年 6月 7日	5,740	△ 2.3	20,821	1.3	82.17	△ 1.6	0.0	98.3
第69期	(期首) 2017年 6月 7日	5,640	—	20,821	—	82.17	—	0.0	98.3
	6月末	5,990	6.2	20,739	△ 0.4	86.18	4.9	0.0	98.5
	(期末) 2017年 7月 7日	5,943	5.4	20,653	△ 0.8	85.84	4.5	0.0	98.6
第70期	(期首) 2017年 7月 7日	5,843	—	20,653	—	85.84	—	0.0	98.6
	7月末	6,156	5.4	21,188	2.6	87.90	2.4	0.0	98.6
	(期末) 2017年 8月 7日	6,052	3.6	21,228	2.8	87.86	2.4	0.0	98.5
第71期	(期首) 2017年 8月 7日	5,952	—	21,228	—	87.86	—	0.0	98.5
	8月末	5,895	△ 1.0	21,063	△ 0.8	87.45	△ 0.5	—	98.7
	(期末) 2017年 9月 7日	5,919	△ 0.6	21,132	△ 0.5	87.50	△ 0.4	—	98.8

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

## 投資環境について

（2017.3.8～2017.9.7）

### ■米国株式市況

S & P 500種株価指数は上昇しました。米国株式市況は、第66期首より下落してスタートしましたが、2017年4月下旬には、フランス大統領選挙の第一回投票結果を受けて安心感が広がったことや、米国トランプ政権による税制改革への期待から上昇しました。5月中旬に、トランプ政権の先行き不透明感が広がり一時大きく下落しましたが、好調な決算のほか雇用統計が予想を上回る伸びだったことを好感して堅調に推移しました。8月中旬以降は、北朝鮮をめぐる地政学リスクの高まりなどから上値が重い展開となりました。

### ■為替相場

豪ドルは対円で上昇しました。第66期首から2017年4月中旬にかけて、シリアや北朝鮮の情勢をめぐる懸念が高まったことなどをを受けて、円高豪ドル安が進みました。その後は、好調なオーストラリア経済などを背景に7月下旬にかけて上昇しました。第71期末にかけては、北朝鮮をめぐる地政学リスクが意識されて、市場のリスク回避姿勢が強まったことなどから、豪ドル円は下落しました。

### ■短期金利市況

オーストラリアの短期金利は、RBA（オーストラリア準備銀行）が政策金利を1.50%で据え置きました。

一方、米国の短期金利は、FRB（米国連邦準備制度理事会）がFOMC（米国連邦公開市場委員会）で政策金利の誘導目標レンジを0.50～0.75%から1.00～1.25%に引き上げました。

## 前作成期間末における「今後の運用方針」

### ■当ファンド

クロッキーUSストラテジー・ファンド（豪ドル・クラス）とダイワ・マネー・マザーファンドに投資します。また、クロッキーUSストラテジー・ファンド（豪ドル・クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

### ■クロッキーUSストラテジー・ファンド（豪ドル・クラス）

投資対象銘柄をS & P 500種株価指数構成銘柄の時価総額上位半数程度の銘柄から世界産業分類基準（GICS）の金融セクターに属する銘柄を除いた銘柄とし、ドイツ銀行グループが独自に

開発した株式分析手法「クロッキーモデル」を用い、会計データを重点分析し、割安と判断される40銘柄を選定します。選定時における各銘柄の構成比率はおおむね均等とします。個別銘柄ごとに、当該株式を原資産とするコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築します。米ドル売り／豪ドル買いの為替取引を活用して、豪ドルで実質的な運用を行ないます。

#### ■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、安定的な運用を行ないます。

## ポートフォリオについて

(2017.3.8 ~ 2017.9.7)

### ■当ファンド

当ファンドは、クロッキーUSストラテジー・ファンド (豪ドル・クラス) とダイワ・マネー・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズであり、当作成期間を通じてクロッキーUSストラテジー・ファンド (豪ドル・クラス) とダイワ・マネー・マザーファンドに投資しました。また、クロッキーUSストラテジー・ファンド (豪ドル・クラス) への投資割合を高位に維持しました。

### ■クロッキーUSストラテジー・ファンド (豪ドル・クラス)

S & P 500種株価指数構成銘柄の時価総額上位半数程度の銘柄からGICSの金融セクターに属する銘柄を除いた銘柄を投資対象銘柄とし、「クロッキーモデル」を用いて会計データを重点分析し、割安と判断される40銘柄を選定しました。選定時における各銘柄の構成比率はおおむね均等としました。個別銘柄ごとに、当該株式を原資産とするコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築しました。米ドル売り／豪ドル買いの為替取引を活用して、豪ドルで実質的な運用を行ないました。

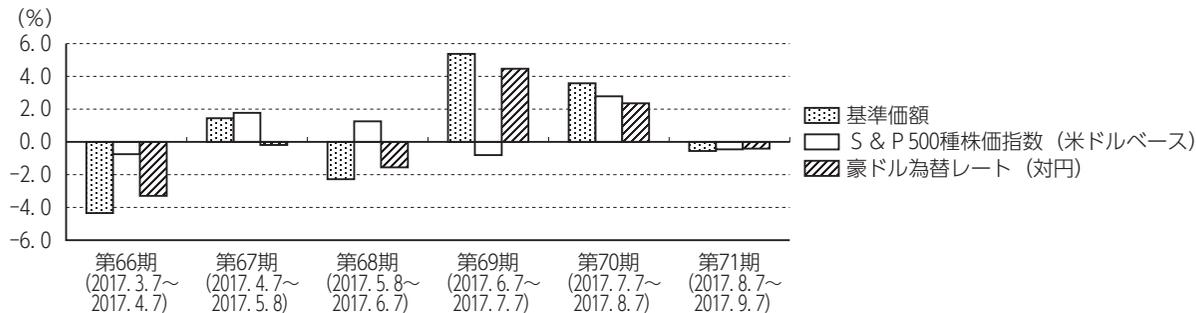
### ■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債、現先取引およびコール・ローン等による運用を行ないました。

## ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。当ファンドはカバードコール戦略を構築していますので、オプション取引要因は参考指数との差異の要因に含まれます。



## 分配金について

第66期から第71期の1万口当り分配金（税込み）はそれぞれ100円といたしました。

収益分配金の決定根拠は下記の「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

## 分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第66期	第67期	第68期	第69期	第70期	第71期
	2017年3月8日 ～2017年4月7日	2017年4月8日 ～2017年5月8日	2017年5月9日 ～2017年6月7日	2017年6月8日 ～2017年7月7日	2017年7月8日 ～2017年8月7日	2017年8月8日 ～2017年9月7日
当期分配金（税込み）（円）	100	100	100	100	100	100
対基準価額比率（%）	1.67	1.67	1.74	1.68	1.65	1.69
当期の収益（円）	48	50	42	48	46	44
当期の収益以外（円）	51	49	57	51	53	55
翌期繰越分配対象額（円）	1,070	1,021	963	911	858	803

（注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

（注2）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

（注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

## ■ 収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第66期	第67期	第68期	第69期	第70期	第71期
(a) 経費控除後の配当等収益	48.57円	50.84円	42.15円	48.22円	46.71円	44.99円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	1,121.78	1,070.36	1,021.34	963.52	911.92	858.65
(d) 分配準備積立金	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	1,170.35	1,121.20	1,063.50	1,011.75	958.63	903.64
(f) 分配金	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	1,070.35	1,021.20	963.50	911.75	858.63	803.64

(注) 下線を付した該当項目から分配金を計上しています。



## 今後の運用方針

### ■ 当ファンド

引き続き、クロッキーUSストラテジー・ファンド（豪ドル・クラス）とダイワ・マネー・マザーファンドに投資します。また、クロッキーUSストラテジー・ファンド（豪ドル・クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

### ■ クロッキーUSストラテジー・ファンド（豪ドル・クラス）

S & P 500種株価指数構成銘柄の時価総額上位半数程度の銘柄からG I C Sの金融セクターに属する銘柄を除いた銘柄を投資対象銘柄とし、「クロッキーモデル」を用いて会計データを重点分析し、割安と判断される40銘柄を選定します。選定時における各銘柄の構成比率はおおむね均等とします。個別銘柄ごとに、当該株式を原資産とするコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築します。米ドル売り／豪ドル買いの為替取引を活用して、豪ドルで実質的な運用を行ないます。

### ■ ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等による運用を行なう方針です。

## 1万口当りの費用の明細

項 目	第66期～第71期 (2017.3.8～2017.9.7)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	39円	0.665%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は5,922円です。
(投 信 会 社)	(13)	(0.217)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価
(販 売 会 社)	(26)	(0.435)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 銀 行)	(1)	(0.013)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権総口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0.004	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	40	0.669	

(注1) 期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券(マザーファンドを除く。)が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

(注3) 金額欄は各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注4) 比率欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■売買および取引の状況

投資信託受益証券

(2017年3月8日から2017年9月7日まで)

決算期	第 66 期 ~ 第 71 期			
	買 付		売 付	
	口 数	金 額	口 数	金 額
外国 (邦貨建)	千口 2,674,942	千円 258,834	千口 12,783,513	千円 1,259,000

(注1) 買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。

(注2) 金額は受渡し代金。

(注3) 金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

投資信託受益証券

(2017年3月8日から2017年9月7日まで)

買 付 銘 柄	第 66 期 ~			第 71 期			
	買 付			売 付			
	口 数	金 額	平均単価	銘 柄	口 数	金 額	平均単価
	千口	千円	円	CROCI US STRATEGY FUND AUD CLASS (ケイマン諸島)	千口 12,783,513	千円 1,259,000	円 98

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況

(1) 当ファンドにおける当作成期間中の利害関係人との取引状況

当作成期間 (第66期~第71期) 中における利害関係人との取引はありません。

(3) 当作成期間中の売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

当作成期間 (第66期~第71期) 中における売買委託手数料の利害関係人への支払いはありません。

(2) ダイワ・マネー・マザーファンドにおける当作成期間中の利害関係人との取引状況

(2017年3月8日から2017年9月7日まで)

区 分	第 66 期 ~ 第 71 期					
	買付額等 A	うち利害 関係人との 取引状況B	B/A	売付額等 C	うち利害 関係人との 取引状況D	D/C
公社債	百万円 116,622	百万円 16,060	% 13.8	百万円 —	百万円 —	% —
コール・ローン	7,623,002	—	—	—	—	—
現先取引 (その他有価証券)	125,999	—	—	125,999	—	—

(注) 平均保有割合0.0%

\*平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該ペーパーファンドのマザーファンド所有口数の割合。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当作成期間における当ファンドに係る利害関係人とは、大和証券です。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組み入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	第 71 期 末		
	□ 数	評価額	比 率
	千口	千円	%
外国投資信託受益証券 (ケイマン諸島) CROCI US STRATEGY FUND AUD CLASS	44,256.87	4,403,647	98.8

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2017年9月7日現在

項 目	第 71 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託受益証券	4,403,647	95.7
ダイワ・マネー・マザーファンド	655	0.0
コール・ローン等、その他	199,373	4.3
投資信託財産総額	4,603,675	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	第65期末	第 71 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ダイワ・マネー・マザーファンド	643	643	655

(注) 単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2017年4月7日)、(2017年5月8日)、(2017年6月7日)、(2017年7月7日)、(2017年8月7日)、(2017年9月7日)現在

項 目	第66期末	第67期末	第68期末	第69期末	第70期末	第71期末
<b>(A) 資産</b>	<b>5,220,431,120円</b>	<b>5,122,720,339円</b>	<b>4,830,957,033円</b>	<b>4,916,073,976円</b>	<b>4,851,281,776円</b>	<b>4,603,675,656円</b>
コール・ローン等	180,586,956	167,226,916	173,843,436	161,339,817	194,616,952	199,373,149
投資信託受益証券 (評価額)	5,039,188,684	4,954,837,943	4,656,458,182	4,754,078,744	4,656,009,473	4,403,647,156
ダイワ・マネー・マザーファンド (評価額)	655,480	655,480	655,415	655,415	655,351	655,351
<b>(B) 負債</b>	<b>115,942,257</b>	<b>108,854,495</b>	<b>94,121,605</b>	<b>94,864,406</b>	<b>123,264,841</b>	<b>145,815,376</b>
未払収益分配金	86,671,404	85,357,718	83,983,033	82,509,003	79,430,809	76,608,846
未払解約金	23,116,268	17,779,325	4,730,002	6,937,944	38,135,119	63,811,480
未払信託報酬	6,117,078	5,645,321	5,304,120	5,280,704	5,528,331	5,192,691
その他未払費用	37,507	72,131	104,450	136,755	170,582	202,359
<b>(C) 純資産総額 (A - B)</b>	<b>5,104,488,863</b>	<b>5,013,865,844</b>	<b>4,736,835,428</b>	<b>4,821,209,570</b>	<b>4,728,016,935</b>	<b>4,457,860,280</b>
元本	8,667,140,459	8,535,771,888	8,398,303,320	8,250,900,332	7,943,080,950	7,660,884,600
次期繰越損益金	△ 3,562,651,596	△ 3,521,906,044	△ 3,661,467,892	△ 3,429,690,762	△ 3,215,064,015	△ 3,203,024,320
<b>(D) 受益権総口数</b>	<b>8,667,140,459口</b>	<b>8,535,771,888口</b>	<b>8,398,303,320口</b>	<b>8,250,900,332口</b>	<b>7,943,080,950口</b>	<b>7,660,884,600口</b>
1万口当り基準価額 (C/D)	5,889円	5,874円	5,640円	5,843円	5,952円	5,819円

\* 第65期末における元本額は8,895,425,004円、当作成期間 (第66期～第71期) 中における追加設定元本額は364,344,818円、同解約元本額は1,598,885,222円です。

\* 第71期末の計算口数当りの純資産額は5,819円です。

\* 第71期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は3,203,024,320円です。

ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) - トリプルリターンズ- 豪ドル・コース (毎月分配型)

■損益の状況

項目	第66期 自 2017年 3月 8日 至 2017年 4月 7日 第67期 自 2017年 4月 8日 至 2017年 5月 8日	第67期 自 2017年 5月 9日 至 2017年 6月 7日 第69期 自 2017年 6月 8日 至 2017年 7月 7日	第68期 自 2017年 5月 9日 至 2017年 6月 7日 第69期 自 2017年 6月 8日 至 2017年 7月 7日	第69期 自 2017年 6月 8日 至 2017年 7月 7日 第71期 自 2017年 8月 8日 至 2017年 9月 7日	第70期 自 2017年 7月 8日 至 2017年 8月 7日 第71期 自 2017年 8月 8日 至 2017年 9月 7日	第71期 自 2017年 7月 8日 至 2017年 8月 7日 第71期 自 2017年 8月 8日 至 2017年 9月 7日
(A) 配当等収益	48,253,035円	46,813,840円	40,740,696円	40,637,809円	38,365,702円	39,691,997円
受取配当金	48,255,836	46,818,940	40,744,576	40,641,344	38,371,087	39,695,389
受取利息	4	19	7	7	18	4
支払利息	△ 2,805	△ 5,119	△ 3,887	△ 3,542	△ 5,403	△ 3,396
(B) 有価証券売買損益	△ 277,067,440	△ 31,022,659	△ 146,686,441	△ 214,594,506	△ 130,921,169	△ 60,010,348
売買益	3,724,832	32,069,209	2,174,668	216,521,029	137,387,016	2,187,000
売買損	△ 280,792,272	△ 1,046,550	△ 148,861,109	△ 1,926,523	△ 6,465,847	△ 62,197,348
(C) 信託報酬等	△ 6,154,585	△ 5,679,945	△ 5,336,579	△ 5,313,018	△ 5,562,158	△ 5,224,468
(D) 当期繰越損益金 (A + B + C)	△ 234,968,990	△ 72,156,554	△ 111,282,324	△ 249,919,297	△ 163,724,713	△ 25,542,819
(E) 前期繰越損益金	△ 2,167,269,953	△ 2,394,183,208	△ 2,303,624,911	△ 2,398,794,603	△ 2,078,561,187	△ 1,873,625,415
(F) 追加信託差損益金	△ 1,073,741,249	△ 1,114,521,672	△ 1,162,577,624	△ 1,198,306,453	△ 1,220,796,732	△ 1,227,247,240
(配当等相当額)	( 972,268,456)	( 913,640,674)	( 857,760,368)	( 794,995,352)	( 724,348,328)	( 657,804,608)
(売買損益相当額)	(△ 2,046,009,705)	(△ 2,028,162,346)	(△ 2,020,337,992)	(△ 1,993,301,805)	(△ 1,945,145,060)	(△ 1,885,051,848)
(G) 合計 (D + E + F)	△ 3,475,980,192	△ 3,436,548,326	△ 3,577,484,859	△ 3,347,181,759	△ 3,135,633,206	△ 3,126,415,474
(H) 収益分配金	△ 86,671,404	△ 85,357,718	△ 83,983,033	△ 82,509,003	△ 79,430,809	△ 76,608,846
次期繰越損益金 (G + H)	△ 3,562,651,596	△ 3,521,906,044	△ 3,661,467,892	△ 3,429,690,762	△ 3,215,064,015	△ 3,203,024,320
追加信託差損益金	△ 1,118,314,231	△ 1,156,481,506	△ 1,211,156,572	△ 1,241,023,510	△ 1,263,122,254	△ 1,269,388,586
(配当等相当額)	( 927,695,474)	( 871,680,840)	( 809,181,420)	( 752,278,295)	( 682,022,806)	( 615,663,262)
(売買損益相当額)	(△ 2,046,009,705)	(△ 2,028,162,346)	(△ 2,020,337,992)	(△ 1,993,301,805)	(△ 1,945,145,060)	(△ 1,885,051,848)
繰越損益金	△ 2,444,337,365	△ 2,365,424,538	△ 2,450,311,320	△ 2,188,667,252	△ 1,951,941,761	△ 1,933,635,734

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は「収益分配金の計算過程 (総額)」の表をご参照ください。

■収益分配金の計算過程 (総額)

項目	第66期	第67期	第68期	第69期	第70期	第71期
(a) 経費控除後の配当等収益	42,098,422円	43,397,884円	35,404,085円	39,791,946円	37,105,287円	34,467,500円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	972,268,456	913,640,674	857,760,368	794,995,352	724,348,328	657,804,608
(d) 分配準備積立金	0	0	0	0	0	0
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	1,014,366,878	957,038,558	893,164,453	834,787,298	761,453,615	692,272,108
(f) 分配金	86,671,404	85,357,718	83,983,033	82,509,003	79,430,809	76,608,846
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	927,695,474	871,680,840	809,181,420	752,278,295	682,022,806	615,663,262
(h) 受益権総口数	8,667,140,459口	8,535,771,888口	8,398,303,320口	8,250,900,332口	7,943,080,950口	7,660,884,600口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ						
1 万口当り分配金	第66期	第67期	第68期	第69期	第70期	第71期
	100円	100円	100円	100円	100円	100円
（単 価）	(5, 889円)	(5, 874円)	(5, 640円)	(5, 843円)	(5, 952円)	(5, 819円)

●〈分配金再投資コース〉をご利用の方の税引き分配金は、上記( )内の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

#### 分配金の課税上の取扱いについて

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・普通分配金については、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）の税率による源泉徴収が行なわれ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税（配当控除の適用はありません。）を選択することもできます。
- ・法人の受益者の場合、税率が異なります。
- ・税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。
- ・課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

## ブラジル・リアル・コース (毎月分配型)

## 最近30期の運用実績

決算期	基準価額			S & P 500種株価指数 (米ドルベース)		ブラジル・リアル 為替レート		公社債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率			
	円	円	%		%	円	%	%	%	百万円
42期末(2015年4月7日)	6,391	200	△ 4.9	17,832	0.5	38.24	△ 3.0	0.0	98.1	256,078
43期末(2015年5月7日)	6,841	150	9.4	17,828	△ 0.0	39.33	2.9	0.0	97.6	281,797
44期末(2015年6月8日)	6,664	150	△ 0.4	17,937	0.6	39.94	1.6	0.0	99.1	264,829
45期末(2015年7月7日)	6,210	150	△ 4.6	17,731	△ 1.2	39.11	△ 2.1	0.0	99.1	239,212
46期末(2015年8月7日)	5,384	150	△ 10.9	17,858	0.7	35.28	△ 9.8	0.0	99.1	202,612
47期末(2015年9月7日)	4,309	150	△ 17.2	16,466	△ 7.8	30.98	△ 12.2	0.0	98.9	158,087
48期末(2015年10月7日)	4,319	100	2.6	16,969	3.1	31.23	0.8	0.0	99.1	155,297
49期末(2015年11月9日)	4,542	100	7.5	17,992	6.0	32.72	4.8	0.0	98.8	160,651
50期末(2015年12月7日)	4,577	100	3.0	17,927	△ 0.4	32.84	0.4	0.0	99.0	160,226
51期末(2016年1月7日)	3,857	100	△ 13.5	17,058	△ 4.8	29.44	△ 10.4	0.0	98.9	132,134
52期末(2016年2月8日)	3,630	100	△ 3.3	16,113	△ 5.5	29.95	1.7	0.0	99.0	121,832
53期末(2016年3月7日)	3,871	100	9.4	17,141	6.4	30.29	1.1	0.0	99.0	128,718
54期末(2016年4月7日)	3,832	100	1.6	17,713	3.3	30.10	△ 0.6	—	99.0	125,430
55期末(2016年5月9日)	3,703	100	△ 0.8	17,631	△ 0.5	30.69	2.0	0.0	98.9	120,334
56期末(2016年6月7日)	3,860	70	6.1	18,079	2.5	30.77	0.3	0.0	98.6	123,741
57期末(2016年7月7日)	3,700	70	△ 2.3	17,996	△ 0.5	30.32	△ 1.5	0.0	99.4	111,135
58期末(2016年8月8日)	4,080	70	12.2	18,709	4.0	32.25	6.4	0.0	99.3	117,443
59期末(2016年9月7日)	4,000	70	△ 0.2	18,740	0.2	31.71	△ 1.7	0.0	99.3	112,873
60期末(2016年10月7日)	4,004	70	1.9	18,519	△ 1.2	32.13	1.3	0.0	99.3	108,731
61期末(2016年11月7日)	3,767	70	△ 4.2	17,872	△ 3.5	32.12	△ 0.0	0.0	98.7	98,855
62期末(2016年12月7日)	4,149	70	12.0	18,960	6.1	33.48	4.2	0.0	99.3	105,586
63期末(2017年1月10日)	4,605	70	12.7	19,446	2.6	36.25	8.3	0.0	98.8	114,384
64期末(2017年2月7日)	4,571	70	0.8	19,649	1.0	35.83	△ 1.2	0.0	98.6	110,071
65期末(2017年3月7日)	4,754	70	5.5	20,358	3.6	36.33	1.4	0.0	98.8	111,233
66期末(2017年4月7日)	4,524	70	△ 3.4	20,205	△ 0.8	35.29	△ 2.9	0.0	98.5	102,252
67期末(2017年5月8日)	4,494	70	0.9	20,564	1.8	35.48	0.5	0.0	99.0	99,378
68期末(2017年6月7日)	4,214	70	△ 4.7	20,821	1.3	33.40	△ 5.9	0.0	98.5	91,063
69期末(2017年7月7日)	4,327	70	4.3	20,653	△ 0.8	34.34	2.8	0.0	98.9	91,521
70期末(2017年8月7日)	4,501	70	5.6	21,228	2.8	35.35	2.9	0.0	98.5	93,203
71期末(2017年9月7日)	4,392	70	△ 0.9	21,132	△ 0.5	35.21	△ 0.4	—	98.6	88,650

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) S & P 500種株価指数 (米ドルベース) は、S & P 500種株価指数 (米ドルベース) の原データをもとに、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。S & P 500種株価指数 (米ドルベース) の所有権およびその他一切の権利は、S & P Dow Jones Indices LLC が有しています。S & P Dow Jones Indices LLC は、同指数の算出にかかる誤謬等に関し、いかなる者に対しても責任を負うものではありません。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 為替レートは、計算日における対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートを採用しています。

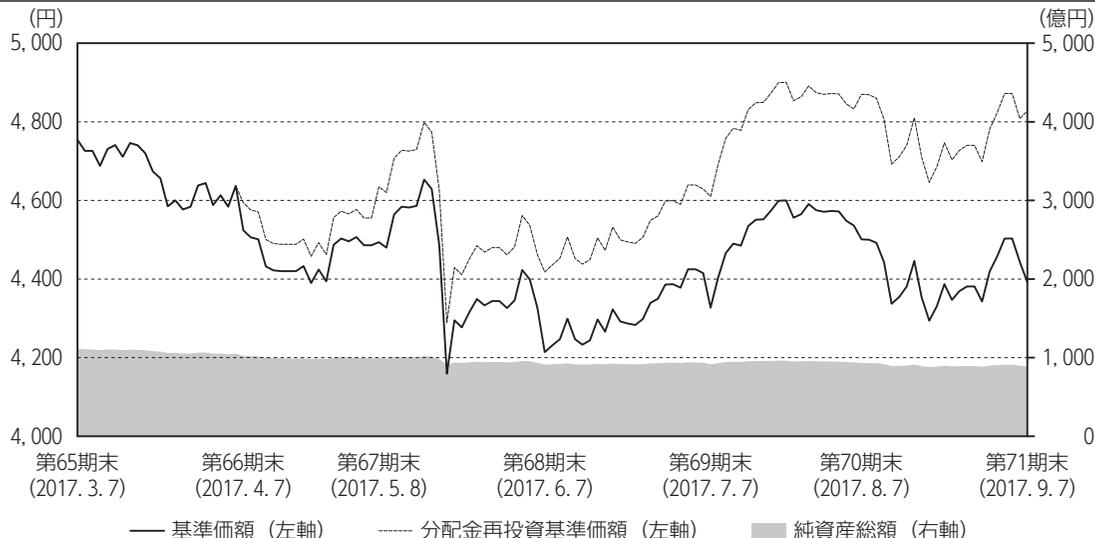
(注5) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注6) 公社債組入比率は新株予約権付社債券 (転換社債券) および債券先物を除きます。



## 運用経過

### 基準価額等の推移について



\* 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものであり、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

\* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまが利用するコースにより異なります。また、分配金の課税条件は、ファンドの購入価額により異なります。

#### 基準価額・騰落率

第66期首：4,754円

第71期末：4,392円 (既払分配金420円)

騰落率：1.5% (分配金再投資ベース)

#### 基準価額の主な変動要因

オージェンタム・トラスト・クロッキーUSストラテジー・ファンド(ブラジル・リアル・クラス)(以下、「クロッキーUSストラテジー・ファンド(ブラジル・リアル・クラス)」といいます。)とダイワ・マネー・マザーファンドに投資した結果、クロッキーUSストラテジー・ファンド(ブラジル・リアル・クラス)の上昇が寄与し、基準価額は上昇しました。クロッキーUSストラテジー・ファンド(ブラジル・リアル・クラス)については、米国の株式とオプション取引を組み合わせたカバードコール戦略を構築するとともに、米ドル売り/ブラジル・リアル買いの為替取引を活用した結果、株価が上昇したことや為替取引によるプレミアム(金利差相当分の収益)が寄与し、上昇しました。一方、ブラジル・リアルが対円で下落したことやオプション取引は、マイナス要因となりました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) - トリプルリターンズ- ブラジル・リアル・コース (毎月分配型)

	年 月 日	基 準 価 額		S & P 500種株価指数 (米ドルベース)		ブラジル・リアル 為替レート		公 社 債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率
		円	%	(参考指数)	騰落率	(参考指数)	騰落率		
第66期	(期首) 2017年 3月 7日	4,754	—	20,358	—	36.33	—	0.0	98.8
	3月末	4,644	△ 2.3	20,296	△ 0.3	35.59	△ 2.0	—	99.5
	(期末) 2017年 4月 7日	4,594	△ 3.4	20,205	△ 0.8	35.29	△ 2.9	0.0	98.5
第67期	(期首) 2017年 4月 7日	4,524	—	20,205	—	35.29	—	0.0	98.5
	4月末	4,507	△ 0.4	20,474	1.3	34.92	△ 1.0	0.0	97.0
	(期末) 2017年 5月 8日	4,564	0.9	20,564	1.8	35.48	0.5	0.0	99.0
第68期	(期首) 2017年 5月 8日	4,494	—	20,564	—	35.48	—	0.0	99.0
	5月末	4,326	△ 3.7	20,680	0.6	34.05	△ 4.0	0.0	99.0
	(期末) 2017年 6月 7日	4,284	△ 4.7	20,821	1.3	33.40	△ 5.9	0.0	98.5
第69期	(期首) 2017年 6月 7日	4,214	—	20,821	—	33.40	—	0.0	98.5
	6月末	4,387	4.1	20,739	△ 0.4	33.89	1.5	0.0	98.4
	(期末) 2017年 7月 7日	4,397	4.3	20,653	△ 0.8	34.34	2.8	0.0	98.9
第70期	(期首) 2017年 7月 7日	4,327	—	20,653	—	34.34	—	0.0	98.9
	7月末	4,571	5.6	21,188	2.6	35.23	2.6	0.0	99.4
	(期末) 2017年 8月 7日	4,571	5.6	21,228	2.8	35.35	2.9	0.0	98.5
第71期	(期首) 2017年 8月 7日	4,501	—	21,228	—	35.35	—	0.0	98.5
	8月末	4,419	△ 1.8	21,063	△ 0.8	34.94	△ 1.2	—	98.9
	(期末) 2017年 9月 7日	4,462	△ 0.9	21,132	△ 0.5	35.21	△ 0.4	—	98.6

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

## 投資環境について

（2017. 3. 8～2017. 9. 7）

### ■米国株式市況

S & P 500種株価指数は上昇しました。米国株式市況は、第66期首より下落してスタートしましたが、2017年4月下旬には、フランス大統領選挙の第一回投票結果を受けて安心感が広がったことや、米国トランプ政権による税制改革への期待から上昇しました。5月中旬に、トランプ政権の先行き不透明感が広がり一時大きく下落しましたが、好調な決算のほか雇用統計が予想を上回る伸びだったことを好感して堅調に推移しました。8月中旬以降は、北朝鮮をめぐる地政学リスクの高まりなどから上値が重い展開となりました。

### ■為替相場

ブラジル・リアルは対円で下落しました。ブラジル議会上院が労働規制改革法案を可決したことや、政府が財政健全化に向け歳出凍結の拡大と増税に踏み切る方針を示したことにより、一時上昇しました。しかし、原油価格が不安定に推移したことやテメル大統領の汚職隠ぺい疑惑の報道などから投資家のリスク回避姿勢が強まり、下落しました。

### ■短期金利市況

ブラジルの短期金利は、ブラジル中央銀行が政策金利を12.25%から合計4.00%ポイント引き下げ、8.25%としました。

一方、米国の短期金利は、F R B（米国連邦準備制度理事会）がF O M C（米国連邦公開市場委員会）で政策金利の誘導目標レンジを0.50～0.75%から1.00～1.25%に引き上げました。

## 前作成期間末における「今後の運用方針」

### ■当ファンド

クロッキーUSストラテジー・ファンド（ブラジル・リアル・クラス）とダイワ・マネー・マザーファンドに投資します。また、クロッキーUSストラテジー・ファンド（ブラジル・リアル・クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

### ■クロッキーUSストラテジー・ファンド（ブラジル・リアル・クラス）

投資対象銘柄をS & P 500種株価指数構成銘柄の時価総額上位半数程度の銘柄から世界産業分類基準（G I C S）の金融セクターに属する銘柄を除いた銘柄とし、ドイツ銀行グループが独自に開発した株式分析手法「クロッキーモデル」を用い、会計データを重点分析し、割安と判断される40

銘柄を選定します。選定時における各銘柄の構成比率はおおむね均等とします。個別銘柄ごとに、当該株式を原資産とするコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築します。米ドル売り／ブラジル・レアル買いの為替取引を活用して、ブラジル・レアルで実質的な運用を行ないます。

#### ■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、安定的な運用を行ないます。

## ポートフォリオについて

(2017.3.8 ~ 2017.9.7)

#### ■当ファンド

当ファンドは、クロッキーUSストラテジー・ファンド (ブラジル・レアル・クラス) とダイワ・マネー・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズであり、当作成期間を通じてクロッキーUSストラテジー・ファンド (ブラジル・レアル・クラス) とダイワ・マネー・マザーファンドに投資しました。また、クロッキーUSストラテジー・ファンド (ブラジル・レアル・クラス) への投資割合を高位に維持しました。

#### ■クロッキーUSストラテジー・ファンド (ブラジル・レアル・クラス)

S & P 500種株価指数構成銘柄の時価総額上位半数程度の銘柄からGICSの金融セクターに属する銘柄を除いた銘柄を投資対象銘柄とし、「クロッキーモデル」を用いて会計データを重点分析し、割安と判断される40銘柄を選定しました。選定時における各銘柄の構成比率はおおむね均等としました。個別銘柄ごとに、当該株式を原資産とするコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築しました。米ドル売り／ブラジル・レアル買いの為替取引を活用して、ブラジル・レアルで実質的な運用を行ないました。

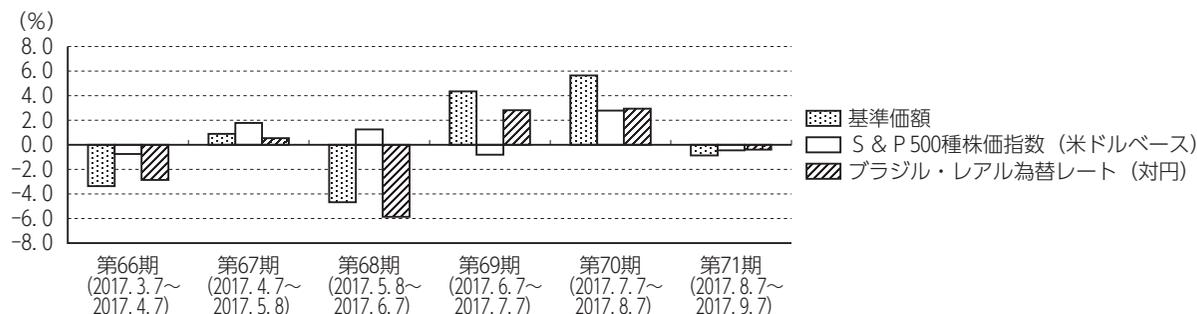
#### ■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債、現先取引およびコール・ローン等による運用を行ないました。

## ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。当ファンドはカバードコール戦略を構築していますので、オプション取引要因は参考指数との差異の要因に含まれます。



## 分配金について

第66期から第71期の1万口当り分配金（税込み）はそれぞれ70円といたしました。

収益分配金の決定根拠は下記の「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

### 分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第66期	第67期	第68期	第69期	第70期	第71期
	2017年3月8日 ～2017年4月7日	2017年4月8日 ～2017年5月8日	2017年5月9日 ～2017年6月7日	2017年6月8日 ～2017年7月7日	2017年7月8日 ～2017年8月7日	2017年8月8日 ～2017年9月7日
当期分配金（税込み）（円）	70	70	70	70	70	70
対基準価額比率（%）	1.52	1.53	1.63	1.59	1.53	1.57
当期の収益（円）	70	70	62	64	68	60
当期の収益以外（円）	—	—	7	5	1	9
翌期繰越分配対象額（円）	1,570	1,579	1,571	1,565	1,564	1,554

（注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

（注2）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

（注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

## ■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項目	第66期	第67期	第68期	第69期	第70期	第71期
(a) 経費控除後の配当等収益	72.29円	78.20円	62.14円	64.22円	68.45円	60.10円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	1,556.81	1,556.88	1,557.04	1,557.18	1,557.35	1,557.40
(d) 分配準備積立金	11.65	13.90	22.02	14.11	8.29	6.72
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	1,640.76	1,648.99	1,641.21	1,635.52	1,634.10	1,624.23
(f) 分配金	70.00	70.00	70.00	70.00	70.00	70.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	1,570.76	1,578.99	1,571.21	1,565.52	1,564.10	1,554.23

(注) 下線を付した該当項目から分配金を計上しています。



## 今後の運用方針

### ■当ファンド

引き続き、クロッキーUSストラテジー・ファンド（ブラジル・リアル・クラス）とダイワ・マネー・マザーファンドに投資します。また、クロッキーUSストラテジー・ファンド（ブラジル・リアル・クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

### ■クロッキーUSストラテジー・ファンド（ブラジル・リアル・クラス）

S & P 500種株価指数構成銘柄の時価総額上位半数程度の銘柄からG I C Sの金融セクターに属する銘柄を除いた銘柄を投資対象銘柄とし、「クロッキーモデル」を用いて会計データを重点分析し、割安と判断される40銘柄を選定します。選定時における各銘柄の構成比率はおおむね均等とします。個別銘柄ごとに、当該株式を原資産とするコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築します。米ドル売り／ブラジル・リアル買いの為替取引を活用して、ブラジル・リアルで実質的な運用を行ないます。

### ■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等による運用を行なう方針です。

## 1万口当りの費用の明細

項 目	第66期～第71期 (2017.3.8～2017.9.7)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	30円	0.665%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は4,464円です。
(投 信 会 社)	(10)	(0.217)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価
(販 売 会 社)	(19)	(0.435)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 銀 行)	(1)	(0.013)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	—	—	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権総口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	(0.000)	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0.000)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	30	0.665	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

(注3) 金額欄は各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注4) 比率欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■売買および取引の状況  
投資信託受益証券

(2017年3月8日から2017年9月7日まで)

決算期	第 66 期 ~ 第 71 期			
	買 付		売 付	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
外国 (邦貨建)	千口	千円	千口	千円
	151,851.81	9,334,005	378,865.014	23,800,000

(注1) 買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。

(注2) 金額は受渡し代金。

(注3) 金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄  
投資信託受益証券

(2017年3月8日から2017年9月7日まで)

買 付	第 66 期 ~ 第 71 期				売 付	平均単価	
	買 付		売 付				
	銘 柄	□ 数	金 額	平均単価			
	千口	千円	円		千口	千円	円
				CROCI US STRATEGY FUND BRL CLASS (ケイマン諸島)	378,865.014	23,800,000	62

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況

(1) 当ファンドにおける当作成期間中の利害関係人との取引状況

当作成期間(第66期~第71期)中における利害関係人との取引はありません。

(2) ダイワ・マネー・マザーファンドにおける当作成期間中の利害関係人との取引状況

(2017年3月8日から2017年9月7日まで)

区 分	第 66 期 ~ 第 71 期					
	買付額等 A	うち利害 関係人との 取引状況B	B/A	売付額等 C	うち利害 関係人との 取引状況D	D/C
公社債	百万円 116,622	百万円 16,060	% 13.8	百万円 —	百万円 —	% —
コール・ローン	7,623,002	—	—	—	—	—
現先取引 (その他有価証券)	125,999	—	—	125,999	—	—

(注) 平均保有割合0.0%

\*平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該ペーパーファンドのマザーファンド所有口数の割合。

(3) 当作成期間中の売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

当作成期間(第66期~第71期)中における売買委託手数料の利害関係人への支払いはありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当作成期間における当ファンドに係る利害関係人とは、大和証券です。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組み入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	第 71 期 末		
	□ 数	評価額	比 率
	千口	千円	%
外国投資信託受益証券 (ケイマン諸島) CROCI US STRATEGY FUND BRL CLASS	1,409,455.176	87,420,047	98.6

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2017年9月7日現在

項 目	第 71 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託受益証券	87,420,047	96.6
ダイワ・マネー・マザーファンド	4,485	0.0
コール・ローン等、その他	3,050,055	3.4
投資信託財産総額	90,474,588	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	第65期末	第 71 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ダイワ・マネー・マザーファンド	4,401	4,401	4,485

(注) 単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2017年4月7日)、(2017年5月8日)、(2017年6月7日)、(2017年7月7日)、(2017年8月7日)、(2017年9月7日)現在

項 目	第66期末	第67期末	第68期末	第69期末	第70期末	第71期末
<b>(A) 資産</b>	<b>105,081,245,614円</b>	<b>101,513,993,388円</b>	<b>93,011,006,699円</b>	<b>93,599,875,626円</b>	<b>95,132,922,845円</b>	<b>90,474,588,253円</b>
コール・ローン等	4,343,223,441	3,123,095,677	3,292,261,480	3,056,566,746	3,349,194,407	3,050,055,168
投資信託受益証券 (評価額)	100,733,536,050	98,386,411,588	89,714,259,536	90,538,823,197	91,779,243,195	87,420,047,842
ダイワ・マネー・マザーファンド (評価額)	4,486,123	4,486,123	4,485,683	4,485,683	4,485,243	4,485,243
<b>(B) 負債</b>	<b>2,828,873,531</b>	<b>2,135,248,895</b>	<b>1,947,748,616</b>	<b>2,078,450,641</b>	<b>1,929,297,867</b>	<b>1,824,046,838</b>
未払収益分配金	1,582,232,789	1,547,988,164	1,512,810,414	1,480,523,559	1,449,466,494	1,413,040,503
未払解約金	1,125,201,169	474,814,222	329,709,615	496,853,703	372,432,900	308,578,871
未払信託報酬	121,267,691	112,101,045	104,714,083	100,387,327	106,529,812	101,381,277
その他未払費用	171,882	345,464	514,504	686,052	868,661	1,046,187
<b>(C) 純資産総額 (A - B)</b>	<b>102,252,372,083</b>	<b>99,378,744,493</b>	<b>91,063,258,083</b>	<b>91,521,424,985</b>	<b>93,203,624,978</b>	<b>88,650,541,415</b>
元本	226,033,255,665	221,141,166,303	216,115,773,523	211,503,365,658	207,066,642,118	201,862,929,117
次期繰越損益金	△123,780,883,582	△121,762,421,810	△125,052,515,440	△119,981,940,673	△113,863,017,140	△113,212,387,702
<b>(D) 受益権総口数</b>	<b>226,033,255,665口</b>	<b>221,141,166,303口</b>	<b>216,115,773,523口</b>	<b>211,503,365,658口</b>	<b>207,066,642,118口</b>	<b>201,862,929,117口</b>
1万口当り基準価額 (C/D)	4,524円	4,494円	4,214円	4,327円	4,501円	4,392円

\* 第65期末における元本額は233,957,935,074円、当作成期間 (第66期～第71期) 中における追加設定元本額は5,608,571,229円、同解約元本額は37,703,577,186円です。

\* 第71期末の計算口数当りの純資産額は4,392円です。

\* 第71期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は113,212,387,702円です。

ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) - トリプルリターンズ- ブラジル・リアル・コース (毎月分配型)

■損益の状況

第66期 自 2017年 3月 8日 至 2017年 4月 7日 第68期 自 2017年 5月 9日 至 2017年 6月 7日 第70期 自 2017年 7月 8日 至 2017年 8月 7日  
 第67期 自 2017年 4月 8日 至 2017年 5月 8日 第69期 自 2017年 6月 8日 至 2017年 7月 7日 第71期 自 2017年 8月 8日 至 2017年 9月 7日

項 目	第66期	第67期	第68期	第69期	第70期	第71期
(A) 配当等収益	1,755,561,110円	1,841,787,091円	1,447,950,307円	1,393,508,643円	1,447,438,483円	1,314,830,847円
受取配当金	1,755,628,482	1,841,902,268	1,448,017,228	1,393,567,939	1,447,518,018	1,314,881,076
受取利息	157	372	162	212	310	170
支払利息	△ 67,529	△ 115,549	△ 67,083	△ 59,508	△ 79,845	△ 50,399
(B) 有価証券売買損益	△ 5,256,554,072	△ 840,765,936	△ 5,883,672,472	△ 2,585,890,015	△ 3,697,351,736	△ 2,009,102,077
売買益	139,825,039	52,341,109	106,806,512	2,612,331,211	3,776,887,108	70,497,993
売買損	△ 5,396,379,111	△ 893,107,045	△ 5,990,478,984	△ 26,441,196	△ 79,535,372	△ 2,079,600,070
(C) 信託報酬等	△ 121,439,573	△ 112,274,627	△ 104,887,000	△ 100,559,406	△ 106,712,421	△ 101,558,803
(D) 当期損益金 (A + B + C)	△ 3,622,432,535	888,746,528	△ 4,540,609,165	3,878,839,252	5,038,077,798	△ 795,830,033
(E) 前期繰越損益金	△ 64,507,559,422	△ 67,966,900,613	△ 66,816,909,938	△ 71,016,847,169	△ 66,835,931,019	△ 61,487,251,715
(F) 追加信託差損益金	△ 54,068,658,836	△ 53,136,279,561	△ 52,182,185,923	△ 51,363,409,197	△ 50,615,697,395	△ 49,516,265,451
(配当等相当額)	( 35,189,173,448)	( 34,429,195,879)	( 33,650,096,916)	( 32,935,017,049)	( 32,247,641,057)	( 31,438,296,696)
(売買損益相当額)	(△ 89,257,832,284)	(△ 87,565,475,440)	(△ 85,832,282,839)	(△ 84,298,426,246)	(△ 82,863,338,452)	(△ 80,954,562,147)
(G) 合計 (D + E + F)	△ 122,198,650,793	△ 120,214,433,646	△ 123,539,705,026	△ 118,501,417,114	△ 112,413,550,646	△ 111,799,347,199
(H) 収益分配金	△ 1,582,232,789	△ 1,547,988,164	△ 1,512,810,414	△ 1,480,523,559	△ 1,449,466,494	△ 1,413,040,503
次期繰越損益金 (G + H)	△ 123,780,883,582	△ 121,762,421,810	△ 125,052,515,440	△ 119,981,940,673	△ 113,863,017,140	△ 113,212,387,702
追加信託差損益金	△ 54,068,658,836	△ 53,136,279,561	△ 52,182,185,923	△ 51,363,409,197	△ 50,615,697,395	△ 49,580,220,083
(配当等相当額)	( 35,189,173,448)	( 34,429,195,879)	( 33,650,096,916)	( 32,935,017,049)	( 32,247,641,057)	( 31,374,342,064)
(売買損益相当額)	(△ 89,257,832,284)	(△ 87,565,475,440)	(△ 85,832,282,839)	(△ 84,298,426,246)	(△ 82,863,338,452)	(△ 80,954,562,147)
分配準備積立金	315,362,457	488,991,020	306,352,115	176,328,885	139,701,703	—
繰越損益金	△ 70,027,587,203	△ 69,115,133,269	△ 73,176,681,632	△ 68,794,860,361	△ 63,387,021,448	△ 63,632,167,619

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は「収益分配金の計算過程 (総額)」の表をご参照ください。

■収益分配金の計算過程 (総額)

項 目	第66期	第67期	第68期	第69期	第70期	第71期
(a) 経費控除後の配当等収益	1,634,121,321円	1,729,512,183円	1,343,063,074円	1,358,292,504円	1,417,420,056円	1,213,271,834円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	35,189,173,448	34,429,195,879	33,650,096,916	32,935,017,049	32,247,641,057	31,438,296,696
(d) 分配準備積立金	263,473,925	307,467,001	476,099,455	298,559,940	171,748,141	135,814,037
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	37,086,768,694	36,466,175,063	35,469,259,445	34,591,869,493	33,836,809,254	32,787,382,567
(f) 分配金	1,582,232,789	1,547,988,164	1,512,810,414	1,480,523,559	1,449,466,494	1,413,040,503
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	35,504,535,905	34,918,186,899	33,956,449,031	33,111,345,934	32,387,342,760	31,374,342,064
(h) 受益権総口数	226,033,255,665口	221,141,166,303口	216,115,773,523口	211,503,365,658口	207,066,642,118口	201,862,929,117口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ						
1 万口当り分配金	第66期	第67期	第68期	第69期	第70期	第71期
	70円	70円	70円	70円	70円	70円
（単 価）	（4, 524円）	（4, 494円）	（4, 214円）	（4, 327円）	（4, 501円）	（4, 392円）

- 〈分配金再投資コース〉をご利用の方の税引き分配金は、上記（ ）内の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

#### 分配金の課税上の取扱いについて

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・普通分配金については、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）の税率による源泉徴収が行なわれ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税（配当控除の適用はありません。）を選択することもできます。
- ・法人の受益者の場合、税率が異なります。
- ・税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。
- ・課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

米ドル・コース (毎月分配型)

最近30期の運用実績

決算期	基準価額			S & P 500種株価指数 (円換算)		公社債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期 騰落率	(参考指数)	期 騰落率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
42期末 (2015年 4月 7日)	15,053	300	△ 2.1	27,770	△ 0.6	0.0	95.2	15,292
43期末 (2015年 5月 7日)	15,380	300	4.2	27,717	△ 0.2	0.0	97.7	16,658
44期末 (2015年 6月 8日)	15,586	300	3.3	29,328	5.8	0.0	98.8	16,531
45期末 (2015年 7月 7日)	14,327	300	△ 6.2	28,353	△ 3.3	0.0	98.7	15,810
46期末 (2015年 8月 7日)	13,920	300	△ 0.7	29,024	2.4	0.0	97.9	15,460
47期末 (2015年 9月 7日)	12,014	300	△ 11.5	25,546	△ 12.0	0.0	98.1	13,838
48期末 (2015年10月 7日)	12,194	300	4.0	26,600	4.1	0.0	98.6	14,448
49期末 (2015年11月 9日)	12,657	300	6.3	28,906	8.7	0.0	98.7	15,997
50期末 (2015年12月 7日)	12,341	300	△ 0.1	28,787	△ 0.4	0.0	97.7	16,213
51期末 (2016年 1月 7日)	11,055	300	△ 8.0	26,368	△ 8.4	0.0	98.2	15,525
52期末 (2016年 2月 8日)	10,073	300	△ 6.2	24,568	△ 6.8	0.0	98.2	14,784
53期末 (2016年 3月 7日)	10,138	300	3.6	25,394	3.4	0.0	98.6	15,137
54期末 (2016年 4月 7日)	9,804	300	△ 0.3	25,294	△ 0.4	—	98.6	15,015
55期末 (2016年 5月 9日)	9,023	300	△ 4.9	24,684	△ 2.4	0.0	98.5	14,587
56期末 (2016年 6月 7日)	9,217	200	4.4	25,294	2.5	0.0	96.9	15,563
57期末 (2016年 7月 7日)	8,295	200	△ 7.8	23,678	△ 6.4	0.0	99.0	13,834
58期末 (2016年 8月 8日)	8,641	200	6.6	24,893	5.1	0.0	98.9	14,295
59期末 (2016年 9月 7日)	8,461	200	0.2	24,751	△ 0.6	0.0	98.4	14,017
60期末 (2016年10月 7日)	8,333	200	0.9	25,034	1.1	0.0	98.4	13,756
61期末 (2016年11月 7日)	7,754	200	△ 4.5	24,207	△ 3.3	0.0	98.6	12,719
62期末 (2016年12月 7日)	8,880	200	17.1	28,207	16.5	0.0	97.9	14,642
63期末 (2017年 1月10日)	9,099	200	4.7	29,381	4.2	0.0	98.0	15,090
64期末 (2017年 2月 7日)	8,642	200	△ 2.8	28,609	△ 2.6	0.0	98.5	14,350
65期末 (2017年 3月 7日)	8,865	200	4.9	30,234	5.7	0.0	98.4	14,910
66期末 (2017年 4月 7日)	8,318	200	△ 3.9	29,204	△ 3.4	0.0	98.1	14,291
67期末 (2017年 5月 8日)	8,273	200	1.9	30,207	3.4	0.0	98.7	14,172
68期末 (2017年 6月 7日)	7,950	140	△ 2.2	29,714	△ 1.6	0.0	98.4	13,815
69期末 (2017年 7月 7日)	8,178	140	4.6	30,484	2.6	0.0	99.1	13,319
70期末 (2017年 8月 7日)	7,970	140	△ 0.8	30,613	0.4	0.0	98.5	12,498
71期末 (2017年 9月 7日)	7,718	140	△ 1.4	30,063	△ 1.8	—	98.8	11,639

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) S & P 500種株価指数 (円換算) は、S & P 500種株価指数 (米ドルベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。S & P 500種株価指数 (米ドルベース) の所有権およびその他一切の権利は、S & P Dow Jones Indices LLC が有しています。S & P Dow Jones Indices LLC は、同指数の算出にかかる誤謬等に関し、いかなる者に対しても責任を負うものではありません。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

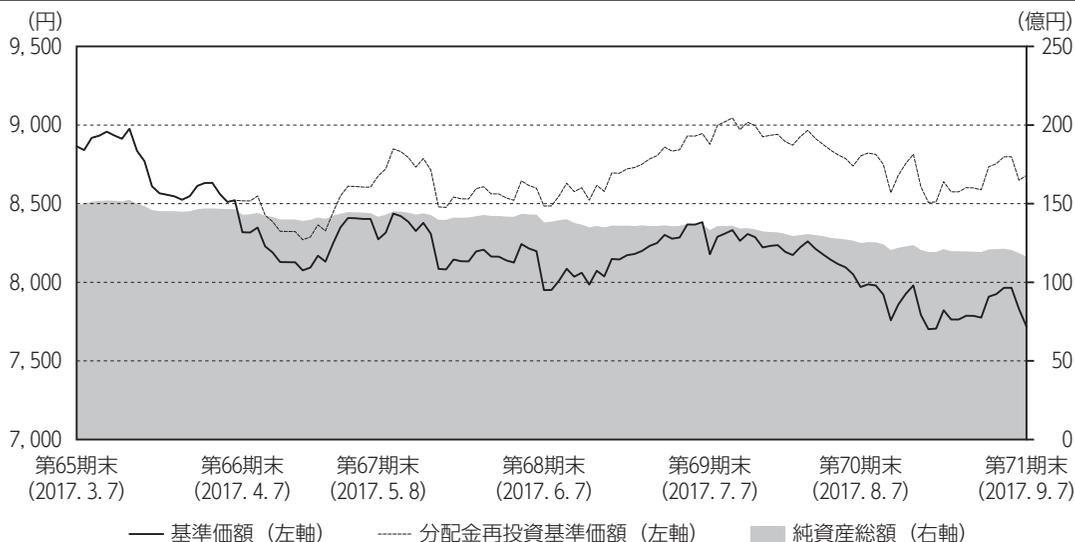
(注4) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注5) 公社債組入比率は新株予約権付社債券 (転換社債券) および債券先物を除きます。



## 運用経過

### 基準価額等の推移について



\* 分配金再投資基準価額は、分配金 (税込み) を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものであり、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

\* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまが利用するコースにより異なります。また、分配金の課税条件は、ファンドの購入価額により異なります。

#### 基準価額・騰落率

第66期首：8,865円

第71期末：7,718円 (既払分配金960円)

騰落率：△2.1% (分配金再投資ベース)

#### 基準価額の主な変動要因

オージェンタム・トラストクロッキーUSストラテジー・ファンド (米ドル・クラス) (以下、「クロッキーUSストラテジー・ファンド (米ドル・クラス)」といいます。) とダイワ・マネー・マザーファンドに投資した結果、クロッキーUSストラテジー・ファンド (米ドル・クラス) の下落がマイナス要因となり、基準価額は下落しました。クロッキーUSストラテジー・ファンド (米ドル・クラス) については、米国の株式とオプション取引を組み合わせたカバードコール戦略を構築した結果、株価が上昇したことはプラスに寄与したものの、米ドルが対円で下落したことやオプション取引がマイナス要因となり、下落しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

## ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) - トリプルリターンズ- 米ドル・コース (毎月分配型)

	年 月 日	基 準 価 額		S & P 500種株価指数 (円換算)		公 社 債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率
		騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率			
第66期	(期首) 2017年 3月 7日	8,865	—	30,234	—	0.0	98.4
	3月末	8,632	△ 2.6	29,668	△ 1.9	—	98.2
	(期末) 2017年 4月 7日	8,518	△ 3.9	29,204	△ 3.4	0.0	98.1
第67期	(期首) 2017年 4月 7日	8,318	—	29,204	—	0.0	98.1
	4月末	8,407	1.1	29,687	1.7	0.0	95.9
	(期末) 2017年 5月 8日	8,473	1.9	30,207	3.4	0.0	98.7
第68期	(期首) 2017年 5月 8日	8,273	—	30,207	—	0.0	98.7
	5月末	8,139	△ 1.6	29,898	△ 1.0	0.0	98.5
	(期末) 2017年 6月 7日	8,090	△ 2.2	29,714	△ 1.6	0.0	98.4
第69期	(期首) 2017年 6月 7日	7,950	—	29,714	—	0.0	98.4
	6月末	8,277	4.1	30,264	1.8	0.0	98.5
	(期末) 2017年 7月 7日	8,318	4.6	30,484	2.6	0.0	99.1
第70期	(期首) 2017年 7月 7日	8,178	—	30,484	—	0.0	99.1
	7月末	8,177	△ 0.0	30,463	△ 0.1	0.0	98.6
	(期末) 2017年 8月 7日	8,110	△ 0.8	30,613	0.4	0.0	98.5
第71期	(期首) 2017年 8月 7日	7,970	—	30,613	—	0.0	98.5
	8月末	7,908	△ 0.8	30,304	△ 1.0	—	99.3
	(期末) 2017年 9月 7日	7,858	△ 1.4	30,063	△ 1.8	—	98.8

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

## 投資環境について

(2017. 3. 8 ~ 2017. 9. 7)

### ■米国株式市況

S & P 500種株価指数は上昇しました。米国株式市況は、第66期首より下落してスタートしましたが、2017年4月下旬には、フランス大統領選挙の第一回投票結果を受けて安心感が広がったことや、米国トランプ政権による税制改革への期待から上昇しました。5月中旬に、トランプ政権の先行き不透明感が広がり一時大きく下落しましたが、好調な決算のほか雇用統計が予想を上回る伸びだったことを好感して堅調に推移しました。8月中旬以降は、北朝鮮をめぐる地政学リスクの高まりなどから上値が重い展開となりました。

### ■為替相場

米ドルは対円で下落しました。フランスの大統領選挙が事前の世論調査どおりの結果となり市場のリスク回避的な動きが後退したことなどから米ドルが買われる局面もありましたが、トランプ大統領のロシアとの不透明な関係をめぐる疑惑、北朝鮮をめぐる地政学リスクが意識されたことで市場のリスク回避的な姿勢が強まり、米ドルは対円で軟調に推移しました。

## 前作成期間末における「今後の運用方針」

### ■当ファンド

クロッキーUSストラテジー・ファンド（米ドル・クラス）とダイワ・マネー・マザーファンドに投資します。また、クロッキーUSストラテジー・ファンド（米ドル・クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

### ■クロッキーUSストラテジー・ファンド（米ドル・クラス）

投資対象銘柄をS & P 500種株価指数構成銘柄の時価総額上位半数程度の銘柄から世界産業分類基準（GICS）の金融セクターに属する銘柄を除いた銘柄とし、ドイツ銀行グループが独自に開発した株式分析手法「クロッキーモデル」を用い、会計データを重点分析し、割安と判断される40銘柄を選定します。選定時における各銘柄の構成比率はおおむね均等とします。個別銘柄ごとに、当該株式を原資産とするコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築します。

### ■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、安定的な運用を行ないます。

## ポートフォリオについて

(2017. 3. 8 ~ 2017. 9. 7)

### ■当ファンド

当ファンドは、クロッキーUSストラテジー・ファンド (米ドル・クラス) とダイワ・マネー・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズであり、当作成期間を通じてクロッキーUSストラテジー・ファンド (米ドル・クラス) とダイワ・マネー・マザーファンドに投資しました。クロッキーUSストラテジー・ファンド (米ドル・クラス) への投資割合を高位に維持しました。

### ■クロッキーUSストラテジー・ファンド (米ドル・クラス)

S & P 500種株価指数構成銘柄の時価総額上位半数程度の銘柄からG I C Sの金融セクターに属する銘柄を除いた銘柄を投資対象銘柄とし、「クロッキーモデル」を用いて会計データを重点分析し、割安と判断される40銘柄を選定しました。選定時における各銘柄の構成比率はおおむね均等としました。個別銘柄ごとに、当該株式を原資産とするコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築しました。

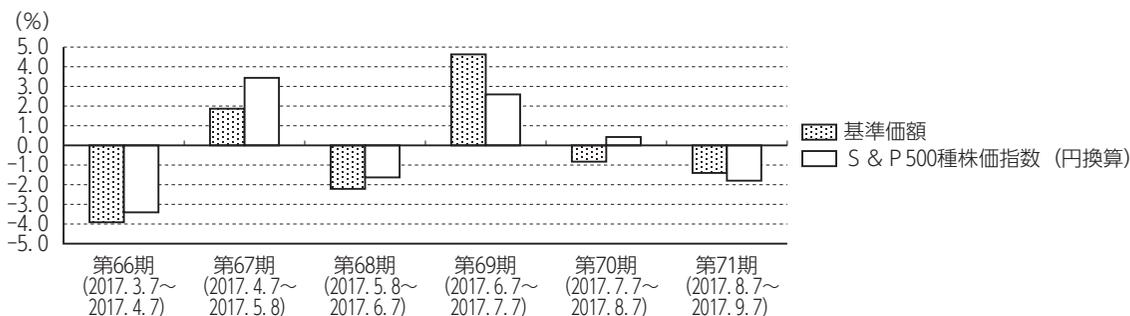
### ■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債、現先取引およびコール・ローン等による運用を行ないました。

## ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。当ファンドはカバードコール戦略を構築していますので、オプション取引要因は参考指数との差異の要因に含まれます。



## 分配金について

1万口当り分配金（税込み）は第66期～第67期はそれぞれ200円、第68期～第71期はそれぞれ140円といたしました。

収益分配金の決定根拠は下記の「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。  
 なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

### 分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第66期	第67期	第68期	第69期	第70期	第71期
	2017年3月8日 ～2017年4月7日	2017年4月8日 ～2017年5月8日	2017年5月9日 ～2017年6月7日	2017年6月8日 ～2017年7月7日	2017年7月8日 ～2017年8月7日	2017年8月8日 ～2017年9月7日
当期分配金（税込み）（円）	200	200	140	140	140	140
対基準価額比率（％）	2.35	2.36	1.73	1.68	1.73	1.78
当期の収益（円）	59	65	54	64	55	58
当期の収益以外（円）	140	134	85	75	84	81
翌期繰越分配対象額（円）	2,850	2,716	2,631	2,556	2,472	2,391

（注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

（注2）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

（注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

### 収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第66期	第67期	第68期	第69期	第70期	第71期
(a) 経費控除後の配当等収益	59.48円	65.59円	54.62円	64.84円	55.62円	58.40円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	2,990.80	2,850.56	2,717.16	2,632.12	2,557.13	2,472.90
(d) 分配準備積立金	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	3,050.28	2,916.16	2,771.78	2,696.96	2,612.76	2,531.30
(f) 分配金	200.00	200.00	140.00	140.00	140.00	140.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	2,850.28	2,716.16	2,631.78	2,556.96	2,472.76	2,391.30

（注）下線を付した該当項目から分配金を計上しています。



## 今後の運用方針

### ■当ファンド

引き続き、クロッキーUSストラテジー・ファンド (米ドル・クラス) とダイワ・マネー・マザーファンドに投資します。また、クロッキーUSストラテジー・ファンド (米ドル・クラス) への投資割合を高位に維持することを基本とします。

### ■クロッキーUSストラテジー・ファンド (米ドル・クラス)

S & P 500種株価指数構成銘柄の時価総額上位半数程度の銘柄からG I C Sの金融セクターに属する銘柄を除いた銘柄を投資対象銘柄とし、「クロッキーモデル」を用いて会計データを重点分析し、割安と判断される40銘柄を選定します。選定時における各銘柄の構成比率はおおむね均等とします。個別銘柄ごとに、当該株式を原資産とするコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築します。

### ■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等による運用を行なう方針です。

## 1万口当りの費用の明細

項 目	第66期～第71期 (2017.3.8～2017.9.7)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	55円	0.666%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は8,229円です。
(投 信 会 社)	(18)	(0.217)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価
(販 売 会 社)	(36)	(0.435)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 銀 行)	(1)	(0.013)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権総口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0.004	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	55	0.670	

(注1) 期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券(マザーファンドを除く。)が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

(注3) 金額欄は各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注4) 比率欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■売買および取引の状況

投資信託受益証券

(2017年3月8日から2017年9月7日まで)

決算期	第 66 期 ~ 第 71 期			
	買 付		売 付	
	口 数	金 額	口 数	金 額
外国 (邦貨建)	千口 8,083,422	千円 1,083,589	千口 24,853,125	千円 3,350,000

(注1) 買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。

(注2) 金額は受渡し代金。

(注3) 金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

投資信託受益証券

(2017年3月8日から2017年9月7日まで)

買 付 銘 柄	第 66 期 ~			第 71 期			
	口 数	金 額	平均単価	銘 柄	口 数	金 額	
	千口	千円	円		千口	千円	円
CROCI US STRATEGY FUND USD CLASS (ケイマン諸島)	3,021,737	410,000	135	CROCI US STRATEGY FUND USD CLASS (ケイマン諸島)	24,853,125	3,350,000	134

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況

(1) 当ファンドにおける当作成期間中の利害関係人との取引状況

当作成期間 (第66期~第71期) 中における利害関係人との取引はありません。

(3) 当作成期間中の売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

当作成期間 (第66期~第71期) 中における売買委託手数料の利害関係人への支払いはありません。

(2) ダイワ・マネー・マザーファンドにおける当作成期間中の利害関係人との取引状況

(2017年3月8日から2017年9月7日まで)

区 分	第 66 期 ~ 第 71 期					
	買付額等 A	うち利害 関係人との 取引状況 B	B/A	売付額等 C	うち利害 関係人との 取引状況 D	D/C
公社債	百万円 116,622	百万円 16,060	% 13.8	百万円 —	百万円 —	% —
コール・ローン	7,623,002	—	—	—	—	—
現先取引 (その他有価証券)	125,999	—	—	125,999	—	—

(注) 平均保有割合0.0%

\*平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該ベビーファンドのマザーファンド所有口数の割合。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当作成期間における当ファンドに係る利害関係人とは、大和証券です。

ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) - トリプルリターンズ - 米ドル・コース (毎月分配型)

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組み入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	第 71 期 末		
	□ 数	評価額	比 率
	千口	千円	%
外国投資信託受益証券 (ケイマン諸島) CROCI US STRATEGY FUND USD CLASS	87,290.088	11,502,913	98.8

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2017年9月7日現在

項 目	第 71 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託受益証券	11,502,913	95.9
ダイワ・マネー・マザーファンド	13	0.0
コール・ローン等、その他	496,149	4.1
投資信託財産総額	11,999,075	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	第65期末	第 71 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ダイワ・マネー・マザーファンド	12	12	13

(注) 単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2017年4月7日)、(2017年5月8日)、(2017年6月7日)、(2017年7月7日)、(2017年8月7日)、(2017年9月7日)現在

項 目	第66期末	第67期末	第68期末	第69期末	第70期末	第71期末
(A) 資産	14,769,018,878円	14,601,561,757円	14,151,324,413円	13,667,684,334円	12,790,228,414円	11,999,075,512円
コール・ローン等	747,100,669	618,722,898	551,029,631	470,549,615	474,312,174	496,149,238
投資信託受益証券 (評価額)	14,021,905,180	13,982,825,830	13,600,281,754	13,197,121,691	12,315,903,214	11,502,913,248
ダイワ・マネー・マザーファンド (評価額)	13,029	13,029	13,028	13,028	13,026	13,026
(B) 負債	477,376,693	429,412,506	335,982,740	347,827,028	291,831,097	359,791,923
未払収益分配金	343,645,004	342,616,095	243,276,377	228,029,296	219,548,324	211,118,987
未払解約金	116,962,605	70,593,660	76,917,123	104,549,733	57,035,408	134,466,341
未払信託報酬	16,666,593	16,001,660	15,494,277	14,862,189	14,771,135	13,646,830
その他未払費用	102,491	201,091	294,963	385,810	476,230	559,765
(C) 純資産総額 (A - B)	14,291,642,185	14,172,149,251	13,815,341,673	13,319,857,306	12,498,397,317	11,639,283,589
元本	17,182,250,249	17,130,804,788	17,376,884,103	16,287,806,906	15,682,023,177	15,079,927,644
次期繰越損益金	△ 2,890,608,064	△ 2,958,655,537	△ 3,561,542,430	△ 2,967,949,600	△ 3,183,625,860	△ 3,440,644,055
(D) 受益権総口数	17,182,250,249口	17,130,804,788口	17,376,884,103口	16,287,806,906口	15,682,023,177口	15,079,927,644口
1万口当り基準価額 (C/D)	8,318円	8,273円	7,950円	8,178円	7,970円	7,718円

\* 第65期末における元本額は16,819,791,065円、当作成期間 (第66期~第71期) 中における追加設定元本額は2,519,686,459円、同解約元本額は4,259,549,880円です。

\* 第71期末の計算口数当りの純資産額は7,718円です。

\* 第71期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は3,440,644,055円です。

ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) - トリプルリターンズ- 米ドル・コース (毎月分配型)

■損益の状況

第66期 自 2017年 3月 8日 至 2017年 4月 7日 第68期 自 2017年 5月 9日 至 2017年 6月 7日 第70期 自 2017年 7月 8日 至 2017年 8月 7日  
 第67期 自 2017年 4月 8日 至 2017年 5月 8日 第69期 自 2017年 6月 8日 至 2017年 7月 7日 第71期 自 2017年 8月 8日 至 2017年 9月 7日

項 目	第66期	第67期	第68期	第69期	第70期	第71期
(A) 配当等収益	118,973,182円	119,125,223円	110,501,981円	108,263,307円	102,099,688円	101,807,908円
受取配当金	118,988,555	119,149,359	110,517,265	108,277,622	102,113,239	101,815,672
受取利息	32	57	34	161	112	31
支払利息	△ 15,405	△ 24,193	△ 15,318	△ 14,476	△ 13,663	△ 7,795
(B) 有価証券売買損益	△ 684,819,923	△ 164,963,466	△ 408,722,849	△ 502,190,081	△ 194,073,518	△ 255,559,491
売買益	10,504,757	163,619,984	5,031,447	514,920,941	5,849,936	8,953,604
売買損	△ 695,324,680	1,343,482	△ 413,754,296	△ 12,730,860	△ 199,923,454	△ 264,513,095
(C) 信託報酬等	△ 16,769,084	△ 16,100,260	△ 15,589,128	△ 14,953,165	△ 14,861,555	△ 13,730,365
(D) 当期繰越益金 (A + B + C)	△ 582,615,825	△ 267,988,429	△ 313,809,996	△ 595,500,223	△ 106,835,385	△ 167,481,948
(E) 前期繰越益金	△ 1,405,424,110	△ 2,041,700,039	△ 1,834,395,278	△ 2,068,934,036	△ 1,502,962,057	△ 1,620,219,762
(F) 追加信託差損益金	△ 558,923,125	△ 842,327,832	△ 1,170,060,779	△ 1,266,486,491	△ 1,354,280,094	△ 1,441,823,358
(配当等相当額)	( 5,138,872,342)	( 4,883,252,398)	( 4,721,587,315)	( 4,287,147,338)	( 4,010,110,528)	( 3,729,116,659)
(売買損益相当額)	(△ 5,697,795,467)	(△ 5,725,580,230)	(△ 5,891,648,094)	(△ 5,553,633,829)	(△ 5,364,390,622)	(△ 5,170,940,017)
(G) 合計 (D + E + F)	△ 2,546,963,060	△ 2,616,039,442	△ 3,318,266,053	△ 2,739,920,304	△ 2,964,077,536	△ 3,229,525,068
(H) 収益分配金	△ 343,645,004	△ 342,616,095	△ 243,276,377	△ 228,029,296	△ 219,548,324	△ 211,118,987
次期繰越損益金 (G + H)	△ 2,890,608,064	△ 2,958,655,537	△ 3,561,542,430	△ 2,967,949,600	△ 3,183,625,860	△ 3,440,644,055
追加信託差損益金	△ 800,364,031	△ 1,072,569,543	△ 1,318,424,303	△ 1,388,903,676	△ 1,486,590,285	△ 1,564,864,802
(配当等相当額)	( 4,897,431,436)	( 4,653,010,687)	( 4,573,223,791)	( 4,164,730,153)	( 3,877,800,337)	( 3,606,075,215)
(売買損益相当額)	(△ 5,697,795,467)	(△ 5,725,580,230)	(△ 5,891,648,094)	(△ 5,553,633,829)	(△ 5,364,390,622)	(△ 5,170,940,017)
繰越損益金	△ 2,090,244,033	△ 1,886,085,994	△ 2,243,118,127	△ 1,579,045,924	△ 1,697,035,575	△ 1,875,779,253

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は「収益分配金の計算過程 (総額)」の表をご参照ください。

■収益分配金の計算過程 (総額)

項 目	第66期	第67期	第68期	第69期	第70期	第71期
(a) 経費控除後の配当等収益	102,204,098円	112,374,384円	94,912,853円	105,612,111円	87,238,133円	88,077,543円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	5,138,872,342	4,883,252,398	4,721,587,315	4,287,147,338	4,010,110,528	3,729,116,659
(d) 分配準備積立金	0	0	0	0	0	0
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	5,241,076,440	4,995,626,782	4,816,500,168	4,392,759,449	4,097,348,661	3,817,194,202
(f) 分配金	343,645,004	342,616,095	243,276,377	228,029,296	219,548,324	211,118,987
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	4,897,431,436	4,653,010,687	4,573,223,791	4,164,730,153	3,877,800,337	3,606,075,215
(h) 受益権総口数	17,182,250,249口	17,130,804,788口	17,376,884,103口	16,287,806,906口	15,682,023,177口	15,079,927,644口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ						
1 万口当り分配金	第66期	第67期	第68期	第69期	第70期	第71期
	200円	200円	140円	140円	140円	140円
（単 価）	(8, 318円)	(8, 273円)	(7, 950円)	(8, 178円)	(7, 970円)	(7, 718円)

●〈分配金再投資コース〉をご利用の方の税引き分配金は、上記（ ）内の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

#### 分配金の課税上の取扱いについて

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・普通分配金については、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）の税率による源泉徴収が行なわれ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税（配当控除の適用はありません。）を選択することもできます。
- ・法人の受益者の場合、税率が異なります。
- ・税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。
- ・課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

通貨セレクト・コース (毎月分配型)

最近30期の運用実績

決算期	基準価額			S & P 500種株価指数 (米ドルベース)		公社債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期騰 落率	(参考指数)	期騰 落率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
22期末(2015年4月7日)	8,336	100	△ 1.6	12,576	0.5	0.0	98.8	805
23期末(2015年5月7日)	8,566	100	4.0	12,573	△ 0.0	0.0	98.8	843
24期末(2015年6月8日)	8,505	100	0.5	12,650	0.6	0.0	98.9	819
25期末(2015年7月7日)	7,941	100	△ 5.5	12,505	△ 1.2	0.0	98.3	755
26期末(2015年8月7日)	7,415	100	△ 5.4	12,594	0.7	0.0	98.8	602
27期末(2015年9月7日)	6,063	100	△ 16.9	11,613	△ 7.8	0.0	98.0	473
28期末(2015年10月7日)	6,336	100	6.2	11,968	3.1	0.0	98.7	501
29期末(2015年11月9日)	6,677	100	7.0	12,689	6.0	0.0	98.9	531
30期末(2015年12月7日)	6,550	100	△ 0.4	12,643	△ 0.4	0.0	98.8	491
31期末(2016年1月7日)	5,665	100	△ 12.0	12,030	△ 4.8	0.0	98.9	438
32期末(2016年2月8日)	5,242	100	△ 5.7	11,364	△ 5.5	0.0	98.8	399
33期末(2016年3月7日)	5,475	100	6.4	12,089	6.4	0.0	99.0	407
34期末(2016年4月7日)	5,424	100	0.9	12,492	3.3	—	99.0	397
35期末(2016年5月9日)	5,078	100	△ 4.5	12,434	△ 0.5	0.0	98.3	358
36期末(2016年6月7日)	5,184	100	4.1	12,750	2.5	0.0	98.9	365
37期末(2016年7月7日)	4,739	100	△ 6.7	12,692	△ 0.5	0.0	99.3	320
38期末(2016年8月8日)	5,007	100	7.8	13,194	4.0	0.0	98.8	332
39期末(2016年9月7日)	4,957	100	1.0	13,216	0.2	0.0	98.9	290
40期末(2016年10月7日)	4,848	100	△ 0.2	13,061	△ 1.2	0.0	98.8	283
41期末(2016年11月7日)	4,487	100	△ 5.4	12,604	△ 3.5	0.0	98.6	243
42期末(2016年12月7日)	4,985	100	13.3	13,372	6.1	0.0	98.5	257
43期末(2017年1月10日)	5,216	100	6.6	13,714	2.6	0.0	97.9	296
44期末(2017年2月7日)	5,031	100	△ 1.6	13,857	1.0	0.0	98.2	282
45期末(2017年3月7日)	5,222	100	5.8	14,357	3.6	0.0	98.2	312
46期末(2017年4月7日)	4,945	100	△ 3.4	14,250	△ 0.8	0.0	97.0	288
47期末(2017年5月8日)	5,024	100	3.6	14,502	1.8	0.0	98.6	279
48期末(2017年6月7日)	4,847	100	△ 1.5	14,684	1.3	0.0	98.3	274
49期末(2017年7月7日)	4,899	100	3.1	14,566	△ 0.8	0.0	96.1	306
50期末(2017年8月7日)	4,857	100	1.2	14,971	2.8	0.0	98.5	325
51期末(2017年9月7日)	4,780	100	0.5	14,903	△ 0.5	—	98.7	331

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) S & P 500種株価指数 (米ドルベース) は、S & P 500種株価指数 (米ドルベース) の原データをもとに、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。S & P 500種株価指数 (米ドルベース) の所有権およびその他一切の権利は、S & P Dow Jones Indices LLC が有しています。S & P Dow Jones Indices LLC は、同指数の算出にかかる誤謬等に関し、いかなる者に対しても責任を負うものではありません。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

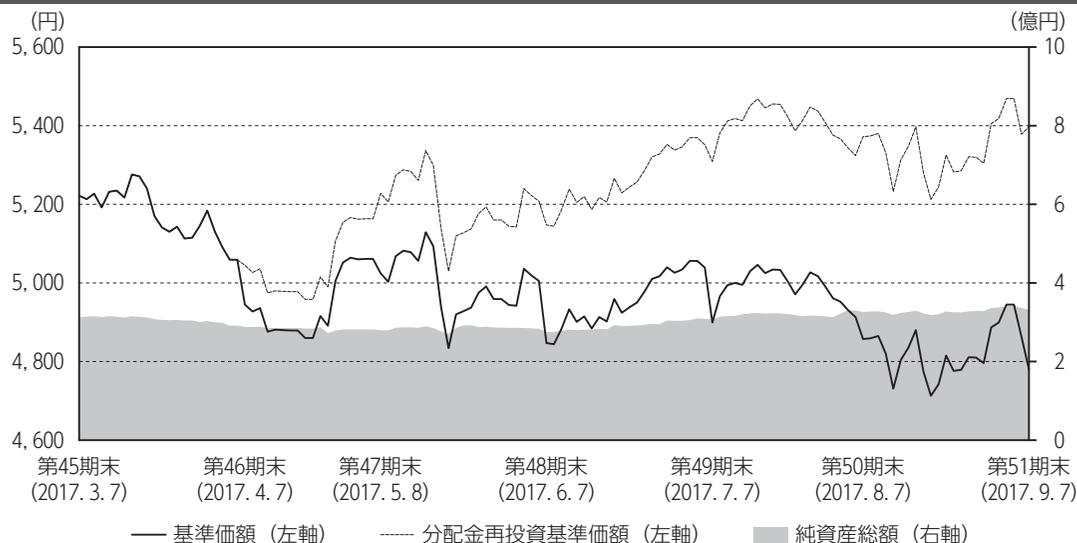
(注4) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注5) 公社債組入比率は新株予約権付社債券 (転換社債券) および債券先物を除きます。



## 運用経過

### 基準価額等の推移について



\* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものであり、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

\* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまが利用するコースにより異なります。また、分配金の課税条件は、ファンドの購入価額により異なります。

#### 基準価額・騰落率

第46期首：5,222円

第51期末：4,780円（既払分配金600円）

騰落率：3.4%（分配金再投資ベース）

#### 基準価額の変動要因

オージェンタム・トラストクロッキーUSストラテジー・ファンド（通貨セレクト・クラス）（以下、「クロッキーUSストラテジー・ファンド（通貨セレクト・クラス）」といいます。）とダイワ・マネー・マザーファンドに投資した結果、クロッキーUSストラテジー・ファンド（通貨セレクト・クラス）の上昇が寄与し、基準価額は上昇しました。クロッキーUSストラテジー・ファンド（通貨セレクト・クラス）については、米国の株式とオプション取引を組み合わせたカバードコール戦略を構築するとともに、米ドル売り／選定通貨買いの為替取引を活用した結果、株価が上昇したことや為替取引によるプレミアム（金利差相当分の収益）が寄与し、上昇しました。一方、オプション取引は、マイナス要因となりました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) - トリプルリターンズ- 通貨セレクト・コース (毎月分配型)

	年 月 日	基 準 価 額		S & P 500種株価指数 (米ドルベース)		公 社 債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率
		円	騰 落 率 %	(参考指数)	騰 落 率 %		
第46期	(期首) 2017年 3月 7日	5,222	—	14,357	—	0.0	98.2
	3月末	5,184	△ 0.7	14,314	△ 0.3	—	98.6
	(期末) 2017年 4月 7日	5,045	△ 3.4	14,250	△ 0.8	0.0	97.0
第47期	(期首) 2017年 4月 7日	4,945	—	14,250	—	0.0	97.0
	4月末	5,060	2.3	14,439	1.3	0.0	96.6
	(期末) 2017年 5月 8日	5,124	3.6	14,502	1.8	0.0	98.6
第48期	(期首) 2017年 5月 8日	5,024	—	14,502	—	0.0	98.6
	5月末	4,944	△ 1.6	14,585	0.6	0.0	99.0
	(期末) 2017年 6月 7日	4,947	△ 1.5	14,684	1.3	0.0	98.3
第49期	(期首) 2017年 6月 7日	4,847	—	14,684	—	0.0	98.3
	6月末	5,026	3.7	14,626	△ 0.4	0.0	96.1
	(期末) 2017年 7月 7日	4,999	3.1	14,566	△ 0.8	0.0	96.1
第50期	(期首) 2017年 7月 7日	4,899	—	14,566	—	0.0	96.1
	7月末	4,990	1.9	14,942	2.6	0.0	98.2
	(期末) 2017年 8月 7日	4,957	1.2	14,971	2.8	0.0	98.5
第51期	(期首) 2017年 8月 7日	4,857	—	14,971	—	0.0	98.5
	8月末	4,887	0.6	14,855	△ 0.8	—	97.3
	(期末) 2017年 9月 7日	4,880	0.5	14,903	△ 0.5	—	98.7

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

## 投資環境について

(2017. 3. 8 ~ 2017. 9. 7)

### ■米国株式市況

S & P 500種株価指数は上昇しました。米国株式市況は、第46期首より下落してスタートしましたが、2017年4月下旬には、フランス大統領選挙の第一回投票結果を受けて安心感が広がったことや、米国トランプ政権による税制改革への期待から上昇しました。5月中旬に、トランプ政権の先行き不透明感が広がり一時大きく下落しましたが、好調な決算のほか雇用統計が予想を上回る伸びだったことを好感して堅調に推移しました。8月中旬以降は、北朝鮮をめぐる地政学リスクの高まりなどから上値が重い展開となりました。

### ■為替相場

選定通貨（※）は対円でまちまちの推移となりました。第46期首から2017年4月半ばにかけては、トランプ政権の政策実行能力への懸念が高まったことや、シリアおよび北朝鮮をめぐる地政学リスクが意識されたことで、市場のリスク回避姿勢が強まり、選定通貨は対円でおおむね下落しました。その後は、ユーロ圏、英国、カナダなどの先進各国の中央銀行が金融緩和姿勢を後退させたことを背景に、主要通貨が上昇する一方で円安傾向となり、選定通貨は対円でおおむね上昇しました。しかし7月以降は、トランプ政権をめぐる懸念や北朝鮮に関する地政学リスクが再び高まり、選定通貨は対円でおおむね下落しました。当作成期間においては、メキシコ・ペソ、トルコ・リラ、中国・人民元は対円で上昇しました。一方で、インド・ルピー、インドネシア・ルピア、南アフリカ・ランド、ロシア・ルーブル、ブラジル・レアルは対円で下落しました。

※選定通貨とは、通貨の選定方針により、為替ヘッジ取引の対象通貨として選定された通貨をいいます。当作成期間においては、ブラジル・レアル、インドネシア・ルピア、インド・ルピー、メキシコ・ペソ、トルコ・リラ、ロシア・ルーブル、南アフリカ・ランド、中国・人民元を選定通貨に組み入れました。

### ■短期金利市況

選定通貨の短期金利は、高い経済成長率やインフレ率を背景に米国の短期金利をおおむね上回って推移しました。

米国の短期金利は、F R B（米国連邦準備制度理事会）がF O M C（米国連邦公開市場委員会）で政策金利の誘導目標レンジを0.50～0.75%から1.00～1.25%に引き上げました。

## 前作成期間末における「今後の運用方針」

### ■当ファンド

クロッキーUSストラテジー・ファンド (通貨セレクト・クラス) とダイワ・マネー・マザーファンドに投資します。また、クロッキーUSストラテジー・ファンド (通貨セレクト・クラス) への投資割合を高位に維持することを基本とします。

### ■クロッキーUSストラテジー・ファンド (通貨セレクト・クラス)

投資対象銘柄をS & P 500種株価指数構成銘柄の時価総額上位半数程度の銘柄から世界産業分類基準 (GICS) の金融セクターに属する銘柄を除いた銘柄とし、ドイツ銀行グループが独自に開発した株式分析手法「クロッキーモデル」を用い、会計データを重点分析し、割安と判断される40銘柄を選定します。選定時における各銘柄の構成比率はおおむね均等とします。個別銘柄ごとに、当該株式を原資産とするコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築します。米ドル売り/選定通貨買いの為替取引を活用して、選定通貨で実質的な運用を行ないます。選定通貨については原則として、シティ世界国債インデックスおよびJPモルガン ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケットズ ブロードの構成国の通貨の中から、金利水準、リスク水準、ファンダメンタルズ、流動性等を考慮し、6つの通貨を選定します。

### ■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、安定的な運用を行ないます。

## ポートフォリオについて

(2017.3.8 ~ 2017.9.7)

### ■当ファンド

当ファンドは、クロッキーUSストラテジー・ファンド (通貨セレクト・クラス) とダイワ・マネー・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズであり、当作成期間を通じてクロッキーUSストラテジー・ファンド (通貨セレクト・クラス) とダイワ・マネー・マザーファンドに投資しました。また、クロッキーUSストラテジー・ファンド (通貨セレクト・クラス) への投資割合を高位に維持しました。

## ■クローキーUSストラテジー・ファンド（通貨セレクト・クラス）

S & P 500種株価指数構成銘柄の時価総額上位半数程度の銘柄からG I C Sの金融セクターに属する銘柄を除いた銘柄を投資対象銘柄とし、「クローキーモデル」を用いて会計データを重点分析し、割安と判断される40銘柄を選定しました。選定時における各銘柄の構成比率はおおむね均等としました。個別銘柄ごとに、当該株式を原資産とするコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築しました。米ドル売り／選定通貨買いの為替取引を活用して、選定通貨で実質的な運用を行ないました。選定通貨においては、金利水準、リスク水準、ファンダメンタルズ、流動性等を勘案し、中長期的な視点から安定したキャリー収益が享受できる通貨を毎月6通貨選定し、運用を行ないました。また、選定通貨合計の比率は、原資産に対しておおむね100%を維持しました。

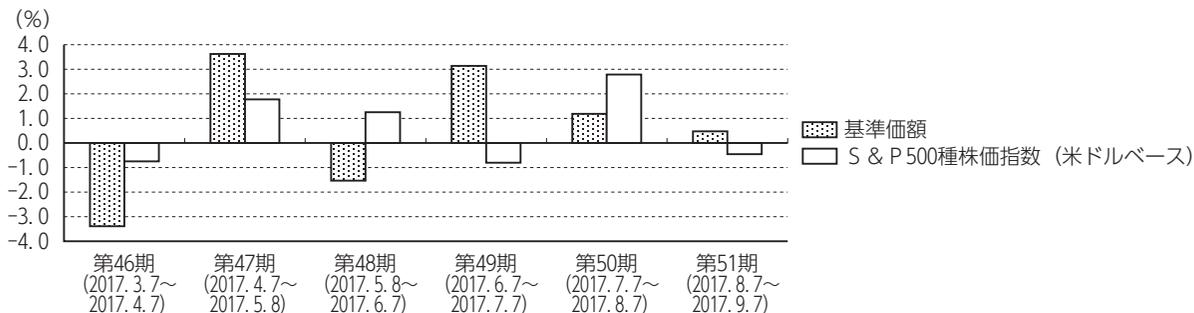
## ■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債、現先取引およびコール・ローン等による運用を行ないました。

## ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。当ファンドはカバードコール戦略を構築していますので、オプション取引要因は参考指数との差異の要因に含まれます。



## 分配金について

第46期から第51期の1万口当り分配金（税込み）はそれぞれ100円といたしました。  
 収益分配金の決定根拠は下記の「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。  
 なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

### ■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第46期	第47期	第48期	第49期	第50期	第51期
	2017年3月8日 ～2017年4月7日	2017年4月8日 ～2017年5月8日	2017年5月9日 ～2017年6月7日	2017年6月8日 ～2017年7月7日	2017年7月8日 ～2017年8月7日	2017年8月8日 ～2017年9月7日
当期分配金（税込み）（円）	100	100	100	100	100	100
対基準価額比率（％）	1.98	1.95	2.02	2.00	2.02	2.05
当期の収益（円）	64	75	56	57	57	56
当期の収益以外（円）	35	24	43	42	42	43
翌期繰越分配対象額（円）	903	879	836	800	761	719

（注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

（注2）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

（注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

### ■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第46期	第47期	第48期	第49期	第50期	第51期
(a) 経費控除後の配当等収益	64.93円	75.62円	56.25円	57.91円	57.35円	56.47円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	938.77	903.71	880.54	842.49	804.16	763.10
(d) 分配準備積立金	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	1,003.70	979.34	936.80	900.41	861.52	819.58
(f) 分配金	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	903.70	879.34	836.80	800.41	761.52	719.58

（注）下線を付した該当項目から分配金を計上しています。



## 今後の運用方針

### ■当ファンド

引き続き、クロッキーUSストラテジー・ファンド（通貨セレクト・クラス）とダイワ・マネー・マザーファンドに投資します。また、クロッキーUSストラテジー・ファンド（通貨セレクト・クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

### ■クロッキーUSストラテジー・ファンド（通貨セレクト・クラス）

S & P 500種株価指数構成銘柄の時価総額上位半数程度の銘柄からG I C Sの金融セクターに属する銘柄を除いた銘柄を投資対象銘柄とし、「クロッキーモデル」を用いて会計データを重点分析し、割安と判断される40銘柄を選定します。選定時における各銘柄の構成比率はおおむね均等とします。個別銘柄ごとに、当該株式を原資産とするコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築します。米ドル売り／選定通貨買いの為替取引を活用して、選定通貨で実質的な運用を行ないます。選定通貨については原則として、シティ世界国債インデックスおよびJ P モルガン ガバメント・ボンド・インデックス－エマージング・マーケット ブロードの構成国の通貨の中から、金利水準、リスク水準、ファンダメンタルズ、流動性等を考慮し、6つの通貨を選定します。

### ■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等による運用を行なう方針です。

## 1万口当りの費用の明細

項 目	第46期～第51期 (2017.3.8～2017.9.7)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	33円	0.665%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は4,978円です。
(投 信 会 社)	(11)	(0.217)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価
(販 売 会 社)	(22)	(0.435)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 銀 行)	(1)	(0.013)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	—	—	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権総口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0.004	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	33	0.669	

(注1) 期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券(マザーファンドを除く。)が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

(注3) 金額欄は各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注4) 比率欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■売買および取引の状況

投資信託受益証券

(2017年3月8日から2017年9月7日まで)

決算期	第46期～第51期			
	買付		売付	
	□数	金額	□数	金額
外国 (邦貨建)	千口 1,929,352	千円 94,629	千口 1,237,558	千円 61,000

(注1) 買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。

(注2) 金額は受渡し代金。

(注3) 金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

投資信託受益証券

(2017年3月8日から2017年9月7日まで)

第46期～第51期				第51期			
銘柄	買付			売付			平均単価
	□数	金額	平均単価	銘柄	□数	金額	
CROCI US STRATEGY FUND CURRENCY SELECTION CLASS (ケイマン諸島)	千口 1,422,408	千円 70,000	円 49	CROCI US STRATEGY FUND CURRENCY SELECTION CLASS (ケイマン諸島)	千口 1,237,558	千円 61,000	円 49

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況

(1) 当ファンドにおける当作成期間中の利害関係人との取引状況

当作成期間（第46期～第51期）中における利害関係人との取引はありません。

(2) ダイワ・マネー・マザーファンドにおける当作成期間中の利害関係人との取引状況

(2017年3月8日から2017年9月7日まで)

区分	第46期～第51期					
	買付額等 A	うち利害 関係人との 取引状況 B	B/A	売付額等 C	うち利害 関係人との 取引状況 D	D/C
公社債	百万円 116,622	百万円 16,060	% 13.8	百万円 —	百万円 —	% —
コール・ローン	7,623,002	—	—	—	—	—
現先取引 (その他有価証券)	125,999	—	—	125,999	—	—

(注) 平均保有割合0.0%

※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該ペーパーファンドのマザーファンド所有口数の割合。

(3) 当作成期間中の売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

当作成期間（第46期～第51期）中における売買委託手数料の利害関係人への支払いはありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当作成期間における当ファンドに係る利害関係人とは、大和証券です。

ダイワ米国株ストラテジーα（通貨選択型）－トリプルリターンズ－通貨セレクト・コース（毎月分配型）

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組み入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	第 51 期 末		
	□ 数	評価額	比 率
	千口	千円	%
外国投資信託受益証券 (ケイマン諸島) CROCI US STRATEGY FUND CURRENCY SELECTION CLASS	6,683.328	326,981	98.7

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2017年9月7日現在

項 目	第 51 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託受益証券	326,981	96.5
ダイワ・マネー・マザーファンド	100	0.0
コール・ローン等、その他	11,664	3.5
投資信託財産総額	338,746	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	第 51 期 末		
	□ 数	□ 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ダイワ・マネー・マザーファンド	98	98	100

(注) 単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2017年4月7日)、(2017年5月8日)、(2017年6月7日)、(2017年7月7日)、(2017年8月7日)、(2017年9月7日)現在

項 目	第46期末	第47期末	第48期末	第49期末	第50期末	第51期末
<b>(A) 資産</b>	<b>299,344,187円</b>	<b>285,466,579円</b>	<b>280,590,926円</b>	<b>313,599,424円</b>	<b>333,022,677円</b>	<b>338,746,282円</b>
コール・ローン等	19,655,229	9,615,821	10,511,498	18,531,199	11,973,136	11,664,382
投資信託受益証券（評価額）	279,588,900	275,750,700	269,979,379	294,968,176	320,949,502	326,981,861
ダイワ・マネー・マザーファンド（評価額）	100,058	100,058	100,049	100,049	100,039	100,039
<b>(B) 負債</b>	<b>11,206,687</b>	<b>5,887,508</b>	<b>5,983,636</b>	<b>6,642,671</b>	<b>7,080,339</b>	<b>7,314,780</b>
未払収益分配金	5,827,077	5,564,571	5,664,992	6,265,870	6,710,930	6,934,136
未払解約金	5,031,783	—	3,469	53,143	492	—
未払信託報酬	345,712	318,872	309,257	315,822	358,896	368,383
その他未払費用	2,115	4,065	5,918	7,836	10,021	12,261
<b>(C) 純資産総額（A－B）</b>	<b>288,137,500</b>	<b>279,579,071</b>	<b>274,607,290</b>	<b>306,956,753</b>	<b>325,942,338</b>	<b>331,431,502</b>
元本	582,707,783	556,457,186	566,499,267	626,587,055	671,093,038	693,413,613
次期繰越損益金	△ 294,570,283	△ 276,878,115	△ 291,891,977	△ 319,630,302	△ 345,150,700	△ 361,982,111
<b>(D) 受益権総口数</b>	<b>582,707,783口</b>	<b>556,457,186口</b>	<b>566,499,267口</b>	<b>626,587,055口</b>	<b>671,093,038口</b>	<b>693,413,613口</b>
1万口当り基準価額（C/D）	4,945円	5,024円	4,847円	4,899円	4,857円	4,780円

\* 第45期末における元本額は598,103,899円、当作成期間（第46期～第51期）中における追加設定元本額は206,636,250円、同解約元本額は111,326,536円です。

\* 第51期末の計算口数当りの純資産額は4,780円です。

\* 第51期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は361,982,111円です。

ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) - トリプルリターンズ- 通貨セレクト・コース (毎月分配型)

■損益の状況

第46期 自 2017年 3月 8日 至 2017年 4月 7日 第48期 自 2017年 5月 9日 至 2017年 6月 7日 第50期 自 2017年 7月 8日 至 2017年 8月 7日  
 第47期 自 2017年 4月 8日 至 2017年 5月 8日 第49期 自 2017年 6月 8日 至 2017年 7月 7日 第51期 自 2017年 8月 8日 至 2017年 9月 7日

項 目	第46期	第47期	第48期	第49期	第50期	第51期
(A) 配当等収益	4,131,544円	4,343,549円	3,498,035円	3,762,742円	4,210,165円	4,286,898円
受取配当金	4,131,814	4,343,980	3,498,373	3,763,182	4,210,615	4,287,238
受取利息	—	9	1	—	—	—
支払利息	△ 270	△ 440	△ 339	△ 440	△ 450	△ 340
(B) 有価証券売買損益	△ 13,985,720	5,966,297	△ 7,030,696	5,171,601	△ 287,566	△ 2,247,893
売買益	371,928	5,955,259	402,460	5,193,925	8,739	8,413
売買損	△ 14,357,648	11,038	△ 7,433,156	△ 22,324	△ 296,305	△ 2,256,306
(C) 信託報酬等	△ 347,827	△ 320,822	△ 311,138	△ 317,740	△ 361,081	△ 370,623
(D) 当期繰越益金 (A + B + C)	△ 10,202,003	9,989,024	△ 3,843,799	8,616,603	3,561,518	1,668,382
(E) 前期繰越損益金	△ 150,967,653	△ 156,928,912	△ 142,340,141	△ 147,587,908	△ 140,030,198	△ 140,225,412
(F) 追加信託差損益金	△ 127,573,550	△ 124,373,656	△ 140,043,045	△ 174,393,127	△ 201,971,090	△ 216,490,945
(配当等相当額)	( 54,703,019)	( 50,287,799)	( 49,882,954)	( 52,789,756)	( 53,967,087)	( 52,915,009)
(売買損益相当額)	(△ 182,276,569)	(△ 174,661,455)	(△ 189,925,999)	(△ 227,182,883)	(△ 255,938,177)	(△ 269,405,954)
(G) 合計 (D + E + F)	△ 288,743,206	△ 271,313,544	△ 286,226,985	△ 313,364,432	△ 338,439,770	△ 355,047,975
(H) 収益分配金	△ 5,827,077	△ 5,564,571	△ 5,664,992	△ 6,265,870	△ 6,710,930	△ 6,934,136
次期繰越損益金 (G + H)	△ 294,570,283	△ 276,878,115	△ 291,891,977	△ 319,630,302	△ 345,150,700	△ 361,982,111
追加信託差損益金	△ 129,616,911	△ 125,729,842	△ 142,521,141	△ 177,030,089	△ 204,832,938	△ 219,508,808
(配当等相当額)	( 52,659,658)	( 48,931,613)	( 47,404,858)	( 50,152,794)	( 51,105,239)	( 49,897,146)
(売買損益相当額)	(△ 182,276,569)	(△ 174,661,455)	(△ 189,925,999)	(△ 227,182,883)	(△ 255,938,177)	(△ 269,405,954)
繰越損益金	△ 164,953,372	△ 151,148,273	△ 149,370,836	△ 142,600,213	△ 140,317,762	△ 142,473,303

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は「収益分配金の計算過程 (総額)」の表をご参照ください。

■収益分配金の計算過程 (総額)

項 目	第46期	第47期	第48期	第49期	第50期	第51期
(a) 経費控除後の配当等収益	3,783,716円	4,208,385円	3,186,896円	3,628,908円	3,849,082円	3,916,273円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	54,703,019	50,287,799	49,882,954	52,789,756	53,967,087	52,915,009
(d) 分配準備積立金	0	0	0	0	0	0
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	58,486,735	54,496,184	53,069,850	56,418,664	57,816,169	56,831,282
(f) 分配金	5,827,077	5,564,571	5,664,992	6,265,870	6,710,930	6,934,136
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	52,659,658	48,931,613	47,404,858	50,152,794	51,105,239	49,897,146
(h) 受益権総口数	582,707,783口	556,457,186口	566,499,267口	626,587,055口	671,093,038口	693,413,613口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ						
1 万口当り分配金	第46期	第47期	第48期	第49期	第50期	第51期
	100円	100円	100円	100円	100円	100円
(単 価)	(4, 945円)	(5, 024円)	(4, 847円)	(4, 899円)	(4, 857円)	(4, 780円)

●〈分配金再投資コース〉をご利用の方の税引き分配金は、上記( )内の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

#### 分配金の課税上の取扱いについて

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金 (特別分配金)」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金 (特別分配金)、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金 (特別分配金) が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金 (特別分配金) を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・普通分配金については、20.315% (所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%) の税率による源泉徴収が行なわれ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税 (配当控除の適用はありません。) を選択することもできます。
- ・法人の受益者の場合、税率が異なります。
- ・税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。
- ・課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA (ニーサ)」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

オージェンタム・トラスト・クロッキーUSストラテジー・ファンド  
 日本円・クラス/豪ドル・クラス/ブラジル・リアル・クラス/  
 米ドル・クラス/通貨セレクト・クラス

当ファンド (ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) - トリプルリターンズー) はケイマン籍の外国投資信託「オージェンタム・トラスト・クロッキーUSストラテジー・ファンド 日本円・クラス/豪ドル・クラス/ブラジル・リアル・クラス/米ドル・クラス/通貨セレクト・クラス」に投資しておりますが、以下の内容は一部の項目を除きすべてのクラスを合算しております。

(注) 2017年9月7日時点で入手しうる直近の状況を掲載しております。

(日本円建て)

貸借対照表  
 2017年2月28日

<b>資産</b>	
投資資産の評価額 (簿価 ¥129,872,788,163)	¥ 129,822,590,202
現金および現金同等物	103,964,823
スワップ契約による評価益	5,260,340
スワップ契約終了による未収金	3,260,343,610
<b>資産合計</b>	<b>133,192,158,975</b>
<b>負債</b>	
スワップ契約による評価損	1,052,248,656
未払:	
専門家報酬	12,806,258
管理会社報酬	11,368,998
運用会社報酬	11,058,323
設立費用	6,496,199
名義書換代理人報酬	2,138,008
受託会社報酬	187,624
為替投資アドバイザー報酬	105,696
<b>負債合計</b>	<b>1,096,409,762</b>
<b>純資産</b>	<b>¥ 132,095,749,213</b>
豪ドル・クラス	¥ 5,617,115,712
ブラジル・リアル・クラス	110,440,792,731
日本円・クラス	1,178,766,961
通貨セレクト・クラス	311,403,262
米ドル・クラス	14,547,670,547
	<b>¥ 132,095,749,213</b>
<b>発行済み受益証券口数</b>	
豪ドル・クラス	55,825,467
ブラジル・リアル・クラス	1,681,108,579
日本円・クラス	12,964,237
通貨セレクト・クラス	6,205,717
米ドル・クラス	105,398,107

<b>1口当りの純資産</b>		
豪ドル・クラス	¥	100.62
ブラジル・リアル・クラス	¥	65.70
日本円・クラス	¥	90.93
通貨セレクト・クラス	¥	50.18
米ドル・クラス	¥	138.03

### 損益計算書

2017年2月28日に終了した年度

<b>投資収益</b>		
その他収益	¥	873,757
<b>投資収益合計</b>		<u>873,757</u>
<b>費用</b>		
運用会社報酬		149,351,340
管理会社報酬		71,298,143
名義書換代理人報酬		13,826,985
専門家報酬		10,536,442
受託会社報酬		1,292,017
為替投資アドバイザー報酬		479,573
その他費用		1,348,871
<b>費用合計</b>		<u>248,133,371</u>
<b>投資純損失</b>		<u>(247,259,614)</u>
<b>実現益 / (損) と評価益 / (損) :</b>		
<b>実現益 / (損) の内訳 :</b>		
有価証券への投資		26,789,744,869
スワップ契約		39,795,272,349
外国為替取引および外国為替先渡契約		(468,417,177)
<b>純実現益</b>		<u>66,116,600,041</u>
<b>評価益 / (損) の純変動の内訳 :</b>		
証券投資		(1,956,950,459)
スワップ契約		249,997,356
外国為替換算および外国為替先渡契約		(216,092,152)
<b>評価損の純変動</b>		<u>(1,923,045,255)</u>
<b>純実現・純評価益</b>		<u>64,193,554,786</u>
<b>運用による純資産の純増</b>	¥	<u><u>63,946,295,172</u></u>

(日本円建て)

投資明細表  
2017年2月28日

ストラクチャード商品

投資資産の明細	受益証券 口数	純資産に 占める割合	評価額
CROCI Buy-Write Index* - トータル・リターン・スワップ	12, 207, 530	98. 28%	¥ 129, 822, 590, 202
ストラクチャード商品計 (簿価 ¥129, 872, 788, 163)			129, 822, 590, 202
投資資産計 (簿価 ¥129, 872, 788, 163)		98. 28%	¥ 129, 822, 590, 202

\*当ファンドは Deutsche Bank A. G. , ロンドン支店との間で締結したファンドの残高と同金額の元本のパフォーマンス・スワップを通して CROCI Buy-Write Index と同様のエクスポージャーを有しています。

豪ドル・クラス外国為替スワップ契約

買い	取引相手	想定元本	満期日	売り	想定元本	純評価益 (損)	純資産に 占める割合
A U D	Deutsche Bank A. G.	65, 709, 976	2017年3月31日	U S D	(50, 450, 498)	¥ 1, 147, 502	0. 00%

ブラジル・レアル・クラス外国為替スワップ契約

買い	取引相手	想定元本	満期日	売り	想定元本	純評価益 (損)	純資産に 占める割合
B R L	Deutsche Bank A. G.	3, 066, 130, 472	2017年3月31日	U S D	(988, 207, 309)	¥ (1, 049, 712, 863)	(0. 79) %

日本円・クラス外国為替スワップ契約

買い	取引相手	想定元本	満期日	売り	想定元本	純評価益 (損)	純資産に 占める割合
J P Y	Deutsche Bank A. G.	1, 186, 009, 564	2017年3月31日	U S D	(10, 569, 213)	¥ 4, 112, 838	0. 00%

通貨セレクト・クラス為替スワップ契約

買い	取引相手	想定元本	満期日	売り	想定元本	純評価益 (損)	純資産に 占める割合
B R L	Deutsche Bank A. G.	1, 533, 679	2017年3月31日	U S D	(494, 333)	¥ (528, 612)	(0. 00) %
I D R	Deutsche Bank A. G.	6, 024, 868, 790	2017年3月31日	U S D	(452, 549)	(225, 140)	(0. 00) %
I N R	Deutsche Bank A. G.	30, 802, 022	2017年3月31日	U S D	(461, 082)	(76, 451)	(0. 00) %
R U B	Deutsche Bank A. G.	27, 175, 138	2017年3月31日	U S D	(466, 705)	(573, 340)	(0. 00) %
T R Y	Deutsche Bank A. G.	1, 811, 175	2017年3月31日	U S D	(500, 443)	(626, 525)	(0. 00) %
Z A R	Deutsche Bank A. G.	5, 638, 139	2017年3月31日	U S D	(432, 967)	(505, 725)	(0. 00) %
合計						¥ (2, 535, 793)	(0. 00) %

用語集：

A U D	豪ドル
B R L	ブラジル・レアル
I D R	インドネシア・ルピア
I N R	インド・ルピー
J P Y	日本円
R U B	ロシア・ルーブル
T R Y	トルコ・リラ
U S D	米ドル
Z A R	南アフリカ・ランド

## ダイワ・マネー・マザーファンド

### <補足情報>

当ファンド（ダイワ米国株ストラテジーα（通貨選択型）－トリプルリターンズ－）が投資対象としている「ダイワ・マネー・マザーファンド」の決算日（2016年12月9日）と、当ファンドの決算日が異なっておりますので、2017年9月7日現在におけるダイワ・マネー・マザーファンドの組入資産の内容等を65ページに併せて掲載いたしました。

### ■ダイワ・マネー・マザーファンドの主要な売買銘柄

#### 公 社 債

(2017年3月8日から2017年9月7日まで)

買 付		売 付	
銘 柄	金 額	銘 柄	金 額
	千円		千円
657 国庫短期証券 2017/4/17	17,880,344		
652 国庫短期証券 2017/3/27	16,550,132		
659 国庫短期証券 2017/4/24	16,270,410		
669 国庫短期証券 2017/6/12	15,870,490		
644 国庫短期証券 2017/5/12	11,970,533		
651 国庫短期証券 2017/3/21	9,010,095		
660 国庫短期証券 2017/5/1	6,480,119		
650 国庫短期証券 2017/6/12	6,150,116		
665 国庫短期証券 2017/5/22	4,420,161		
661 国庫短期証券 2017/5/8	3,780,123		

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。

(注2) 単位未満は切捨て。

### ■組入資産明細表

下記は、2017年9月7日現在におけるダイワ・マネー・マザーファンド（61,185,457千円）の内容です。

#### 国内その他有価証券

	2017年9月7日現在	
	評 価 額	比 率
	千円	%
国内短期社債等	999,999	<1.6>

(注1) < >内は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

# ダイワ・マネー・マザーファンド

## 運用報告書 第12期 (決算日 2016年12月9日)

(計算期間 2015年12月10日～2016年12月9日)

ダイワ・マネー・マザーファンドの第12期にかかる運用状況をご報告申し上げます。

### ★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	主としてわが国の公社債への投資により、利息収入の確保をめざして運用を行いません。
主要投資対象	本邦通貨表示の公社債
運用方法	①わが国の公社債を中心に安定運用を行いません。 ②邦貨建資産の組み入れにあたっては、取得時に第二位（A - 2 格相当）以上の短期格付であり、かつ残存期間が1年未満の短期債、コマーシャル・ペーパーに投資することを基本とします。
株式組入制限	純資産総額の30%以下

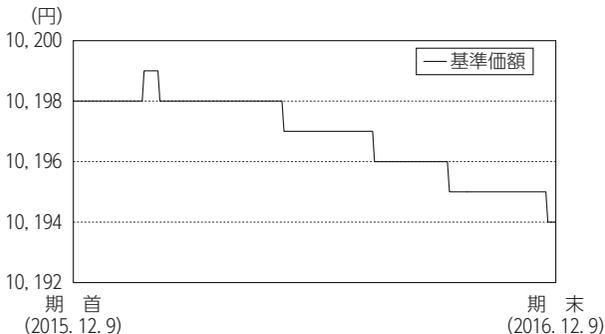
## 大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

■当期中の基準価額の推移



《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：10,198円 期末：10,194円 騰落率：△0.0%

【基準価額の主な変動要因】

低金利環境が継続したことなどから、基準価額は下落しました。

◆投資環境について

○国内短期金融市況

期首より、日銀は量的・質的金融緩和を継続し、2016年1月にはマイナス金利付き量的・質的金融緩和の導入を、9月には長短金利操作付き量的・質的金融緩和の導入を決定しました。このような日銀の金融政策を背景に、国庫短期証券（3カ月物）の利回りおよび無担保コール翌日物金利は低下しました。

◆前期における「今後の運用方針」

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等の短期金融資産への投資により、安定的な運用を行なっております。

◆ポートフォリオについて

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債、現先取引およびコール・ローン等による運用を行ないました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

《今後の運用方針》

流動性と資産の安全性に配慮し、安定的な運用を行ないます。

年月日	基準価額		公社債組入比率
	円	%	
(期首)2015年12月9日	10,198	—	55.2
12月末	10,198	0.0	52.1
2016年1月末	10,198	0.0	94.1
2月末	10,198	0.0	50.0
3月末	10,198	0.0	—
4月末	10,198	0.0	3.3
5月末	10,197	△ 0.0	0.1
6月末	10,197	△ 0.0	1.6
7月末	10,196	△ 0.0	19.1
8月末	10,196	△ 0.0	44.5
9月末	10,195	△ 0.0	25.5
10月末	10,195	△ 0.0	3.4
11月末	10,195	△ 0.0	26.7
(期末)2016年12月9日	10,194	△ 0.0	30.1

(注1) 騰落率は期首比。

(注2) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。

(注3) 当ファンドは、利息収入の確保をめぐって安定運用を行っており、ベンチマークおよび参考指数はありません。

■1万口当りの費用の明細

項目	当期
売買委託手数料	—円
有価証券取引税	—
その他費用 (その他)	0 ( 0)
合計	0

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。費用の項目および算出法については前掲の「1万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。

(注2) 各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■売買および取引の状況

(1) 公 社 債

(2015年12月10日から2016年12月9日まで)

		買付額	売付額
国	内	千円	千円
国	債証券	285,828,471	11,349,138 ( 297,450,000)

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子は含まれておりません）。  
 (注2) ( )内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。  
 (注3) 単位未満は切捨て。

(2) その他有価証券

(2015年12月10日から2016年12月9日まで)

		買付額	売付額
国	内	千円	千円
国	内短期社債等	17,999,984	16,999,986

(注1) 金額は受渡し代金。  
 (注2) 単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄  
公 社 債

(2015年12月10日から2016年12月9日まで)

		当 期	
		買 付	売 付
銘 柄	金 額	銘 柄	金 額
	千円		千円
613 国庫短期証券 2016/9/12	27,280,379	567 国庫短期証券 2016/2/8	4,999,980
591 国庫短期証券 2016/5/30	24,330,973	566 国庫短期証券 2016/2/1	2,999,991
611 国庫短期証券 2016/9/5	19,330,584	342 2年国債 0.1% 2016/7/15	2,095,779
601 国庫短期証券 2016/7/19	19,020,392	100 5年国債 0.3% 2016/9/20	1,253,387
629 国庫短期証券 2016/11/28	14,720,456		
596 国庫短期証券 2016/6/20	14,390,312		
632 国庫短期証券 2016/12/12	14,020,490		
588 国庫短期証券 2016/5/16	12,500,147		
609 国庫短期証券 2016/8/22	10,870,238		
610 国庫短期証券 2016/8/29	10,390,257		

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子は含まれておりません）。  
 (注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

(1) 国内（邦貨建）公社債（種類別）

作成期	当 期			末			
	額面金額	評価額	組入比率	うちB B格以下組入比率	残存期間別組入比率		
区 分					5年以上	2年以上	2年未満
	千円	千円	%	%	%	%	%
国債証券	20,580,000	20,580,364	30.1	—	—	—	30.1

(注1) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。  
 (注2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。  
 (注3) 評価額および格付情報については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(2) 国内（邦貨建）公社債（銘柄別）

		当 期			末
区 分	銘 柄	年利率	額面金額	評価額	償還年月日
		%	千円	千円	
国債証券	632 国庫短期証券	—	14,020,000	14,020,113	2016/12/12
	634 国庫短期証券	—	2,010,000	2,010,039	2016/12/19
	635 国庫短期証券	—	4,550,000	4,550,211	2016/12/26
合計	銘柄数 金額	3銘柄	20,580,000	20,580,364	

(注) 単位未満は切捨て。

(3) 国内その他有価証券

	当 期	末
	評 価 額	比 率
	千円	%
国内短期社債等	999,999	<1.5>

(注1) < >内は、純資産総額に対する評価額の比率。  
 (注2) 評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2016年12月9日現在

項 目	当 期	末
	評 価 額	比 率
	千円	%
公社債	20,580,364	27.2
その他有価証券	999,999	1.3
コール・ローン等、その他	53,984,185	71.4
投資信託財産総額	75,564,549	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

# ダイワ・マネー・マザーファンド

## ■資産、負債、元本および基準価額の状況

2016年12月9日現在

項 目	当 期 末
<b>(A) 資産</b>	<b>75,564,549,239円</b>
コール・ローン等	53,983,440,401
公社債（評価額）	20,580,364,994
現先取引（その他有価証券）	999,999,178
その他未収収益	744,666
<b>(B) 負債</b>	<b>7,294,738,200</b>
未払金	1,800,034,200
未払解約金	5,494,704,000
<b>(C) 純資産総額（A－B）</b>	<b>68,269,811,039</b>
元本	66,967,614,984
次期繰越損益金	1,302,196,055
<b>(D) 受益権総口数</b>	<b>66,967,614,984口</b>
<b>1万口当り基準価額（C／D）</b>	<b>10,194円</b>

\* 期首における元本額は77,361,886,547円、当期中における追加設定元本額は229,319,669,570円、同解約元本額は239,713,941,133円です。

\* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、ダイワ F E グローバル・バリュー（為替ヘッジあり）98,069円、ダイワ F E グローバル・バリュー（為替ヘッジなし）98,069円、ダイワ / "RICI"® コモディティ・ファンド8,952,508円、U S 債券 N B 戦略ファンド（為替ヘッジあり / 年1回決算型）740,564円、U S 債券 N B 戦略ファンド（為替ヘッジなし / 年1回決算型）1,623,350円、スマート・アロケーション・Dガード1,987,559円、N B ストラテジック・インカム・ファンド<ラップ>米ドルコース981円、N B ストラテジック・インカム・ファンド<ラップ>円コース981円、N B ストラテジック・インカム・ファンド<ラップ>世界通貨分散コース981円、堅実バランスファンダー・はじめの一歩-129,891,397円、D C ダイワ・マネー・ポートフォリオ 2,529,071,704円、ダイワファンダラップ コモディティセレクト317,088,630円、ダイワ米国株ストラテジーα（通貨選択型）-トリプルリターンズ-日本円・コース（毎月分配型）132,757円、ダイワ米国株ストラテジーα（通貨選択型）-トリプルリターンズ-豪ドル・コース（毎月分配型）643,132円、ダイワ米国株ストラテジーα（通貨選択型）-トリプルリターンズ-ブラジル・リアル・コース（毎月分配型）4,401,613円、ダイワ米国株ストラテジーα（通貨選択型）-トリプルリターンズ-米ドル・コース（毎月分配型）12,784円、ダイワ / フィデリティ北米株式ファンド-パラダイムシフト-29,484,934円、(適格機関投資家専用) スマート・シックス・Dガード495,850,899円、ブルベア・マネー・ポートフォリオ IV 21,858,178,543円、ブル3倍日本株ポートフォリオ IV 34,413,293,504円、ベア2倍日本株ポートフォリオ IV 6,512,563,667円、ダイワ F E グローバル・バリュー株ファンド（ダイワ S M A 専用）4,090,590円、ダイワ米国高金利社債ファンド（通貨選択型）ブラジル・リアル・コース（毎月分配型）98,290,744円、ダイワ米国高金利社債ファンド（通貨選択型）日本円・コース（毎月分配型）23,590,527円、ダイワ米国高金利社債ファンド（通貨選択型）米ドル・コース（毎月分配型）2,163,360円、ダイワ米国高金利社債ファンド（通貨選択型）豪ドル・コース（毎月分配型）13,761,552円、ダイワ / アムンディ食糧増産関連ファンド4,974,315円、ダイワ日本リート・ファンド・マネー・ポートフォリオ197,896,688円、ダイワ新興国ハイインカム・プラスII-金積立型-501,660円、ダイワ新興国ハイインカム債券ファンド（償還条項付き）為替ヘッジあり1,004,378円、ダイワ新興国ソブリン債券ファンド（資産成長コース）49,082,149円、ダイワ新興国ソブリン債券ファンド（通貨αコース）196,290,094円、ダイワ・ダブルバランス・ファンド（Dガード付 / 部分為替ヘッジあり）27,494,856円、ダイワ・インフラビジネス・ファンド-インフラ革命-（為替ヘッジあり）988,283円、ダイワ・インフラビジネス・ファンド-インフラ革命-（為替ヘッジなし）4,926,018円、ダイワ米国 M L P ファンド（毎月分配型）米ドルコース13,732,222円、ダイワ米国 M L P ファンド（毎月分配型）日本円コース3,874,449円、ダイワ米国 M L P ファンド（毎月分配型）通貨αコース13,437,960円、ダイワ英国高配当株ツインα（毎月分配型）98,107円、ダイワ英国高配当株ファンド98,107円、ダイワ英国高配当株ファンド・マネー・ポートフォリオ1,724,477円、D C スマート・アロケーション・Dガード95,147

円、ダイワ・世界コモディティ・ファンド（ダイワ S M A 専用）274,626円、ダイワ米国高金利社債ファンド（通貨選択型）南アフリカ・ランド・コース（毎月分配型）98,252円、ダイワ米国高金利社債ファンド（通貨選択型）トルコ・リラ・コース（毎月分配型）2,554,212円、ダイワ米国高金利社債ファンド（通貨選択型）通貨セレクト・コース（毎月分配型）1,178,976円、ダイワ・オーストラリア高配当株α（毎月分配型）株式αコース98,203円、ダイワ・オーストラリア高配当株α（毎月分配型）通貨αコース98,203円、ダイワ・オーストラリア高配当株α（毎月分配型）株式&通貨ツインαコース982,029円、ダイワ米国株ストラテジーα（通貨選択型）-トリプルリターンズ-通貨セレクト・コース（毎月分配型）98,174円です。

\* 当期末の計算口数当りの純資産額は10,194円です。

## ■損益の状況

当期 自2015年12月10日 至2016年12月9日

項 目	当 期
<b>(A) 配当等収益</b>	<b>△ 17,198,883円</b>
受取利息	△ 3,050,070
その他収益金	744,666
支払利息	△ 14,893,479
<b>(B) 有価証券売買損益</b>	<b>△ 1,077,368</b>
売買益	242,421
売買損	△ 1,319,789
<b>(C) その他費用</b>	<b>△ 139,970</b>
<b>(D) 当期損益金（A+B+C）</b>	<b>△ 18,416,221</b>
<b>(E) 前期繰越損益金</b>	<b>1,530,291,621</b>
<b>(F) 解約差損益金</b>	<b>△ 4,723,800,173</b>
<b>(G) 追加信託差損益金</b>	<b>4,514,120,828</b>
<b>(H) 合計（D+E+F+G）</b>	<b>1,302,196,055</b>
<b>次期繰越損益金（H）</b>	<b>1,302,196,055</b>

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。